

全自動洗濯機

品番 HCW-5276WH/5206WH/5156WH 5106WH/5106SA

このたびは、お買い上げまことにありがとうございました。ご使用前に、この「取扱説明書」と添付の「保証書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも取り出せるところに「保証書」とともに大切に保管してください。

保証書は必ずお受け取りください。



目次

安全上のご注意.....	1
各部の名称と外形寸法.....	5
操作部の名称とはたらき.....	7
試運転モニターの運転方法.....	8
試運転モニターについて.....	9
運転のしかた.....	13
洗剤、ソフト剤のセット方法.....	14
プログラム変更ボタンについて.....	15
プログラムの内容.....	16
各種設定のしかた.....	17
積算カウンターの表示.....	22
停電時の処置.....	24
トラブルモニターについて.....	25
お手入れのしかた.....	26
修理を依頼される前に.....	27
アフターサービスと保証について.....	27
転居または移設の場合.....	27
仕様	
[HCW-5276WH/5206WH].....	28
[HCW-5156WH/5106WH/5106SA].....	29
据え付け工事編.....	30
機械の据え付け.....	32
電気工事.....	36
配管工事.....	37
プログラム設定内容記録表.....	40

ご愛用者登録のお願い

下記のURLより愛用者登録とアンケートのご記入をお願い致します。

<http://aqua-has.com/support/reg/>



安全上のご注意

★必ずご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

★ここに示した注意事項は

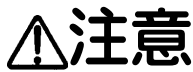
製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに「警告」、「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

絵表示についての詳しい説明は下記のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を追う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は特定しない一般的な使用者の行為の強制）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

引火物を洗濯機の中に入れない

灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどをドラムの中に入れたり、それらの付着した衣類を洗濯したりしないでください。爆発や火災のおそれがあります。



点検やお手入れを行うときは

機械の点検やお手入れを行うときは、必ず電源を切ってから行ってください。感電や、回転部、振動部への接触によるけがのおそれがあります。



洗濯以外の用途に使用しない

この洗濯機を衣類など水洗物の洗濯以外に使用すると、故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。



ドアまわりのすきまに手を入れない

ドアまわりのすきまには手を入れないでください。振動部分などへの接触によるけがのおそれがあります。



長期間ご使用にならない時は

元電源を切り、給湯、給水バルブを閉めてください。絶縁劣化による感電や漏電火災、水漏れ事故などのおそれがあります。



警告

前面板・后面板・側面板・天板を外したままで運転しない。

脱水時に機械の振動が大きくなり故障の原因となったり、回転部に触れるとけがをするおそれがあります。



操作パネルに水をかけない

操作パネルには、水をかけたり、濡れた手で触れたりしないでください。感電や漏電による火災のおそれがあります。



ドラムの中には入らない

ドアは一旦閉めるとドラムの内部からは開くことができません。また運転中はドアがロックし、外からも開きません。特に子供によるいたずらに注意し、子供だけで操作したり、ドラム内に入って遊んだりすることがないようにしてください。



改造、分解や修理はしない

自分で絶対に改造、分解や修理はしないでください。感電やショートによる火災、また異常動作によるけがのおそれがあります。



ドラム内の清掃に可燃物を使用しない

ドラム内の清掃にシンナー、石油などの可燃物を使用しないでください。残留成分により、爆発、火災がおこるおそれがあります。



切替スイッチを操作するとき、点検やお手入れを行うときは

制御基板の設定、機械の点検やお手入れを行うときは、必ず元電源を切ってから行ってください。感電や回転部、振動部への接触によるけがのおそれがあります。



機械の据え付け・電気工事・配管工事は、絶対に自分でしない

機械の据え付け・電気工事・配管工事は、絶対に自分でしないでください。感電やショートによる火災、本機や建物の破損のおそれがあります。専門の業者に工事を依頼してください。詳しくは、「据付工事編」を参照してください。(☞ ページ 30 ~ 39)



本機を廃棄するときは

本機を廃棄される場合は、子供のいたずらによるとじ込め事故防止のため、前面のドアを取りはずしてください。



安全管理をしてください

この商品は遠心機械です。1年以内毎に1回、自主定期検査を行い、記録を3年間保管してください。(労働安全衛生法第45条1項、労働安全衛生規則第141条3項)(☞ ページ 26) また、洗濯機から衣類を取り出すときは、回転が停止してから行ってください。(労働安全衛生規則 第139条)



⚠注意

衣類を確認する

洗濯するときはポケットの中を確認して、マッチやライター、ヘアピン、硬貨、くぎなどを取り出してください。衣類を傷つけたり機械が破損するおそれがあります。



デリケートな衣類を洗うときは

薄い化繊やレースまたは、飾りなどの付いた衣類を洗うときは、必ず洗濯ネットに入れて洗濯してください。傷つきや、破れのおそれがあります。



塩素系漂白剤は 直接衣類にかけない

塩素系漂白剤は直接衣類にかけないでください。衣類が変色するおそれがあります。



指定洗剤以外は使用しない

洗剤、ソフト剤は指定のものを適量でご使用ください。(☞ ページ 17、18) 指定以外の洗剤、ソフト剤を使用すると、泡が立ちすぎたり、ホースの変形や傷みにより感電や漏電がおこるおそれがあります。また、ポンプの故障につながるおそれがあります。



厚手の綿ふとんや大きすぎる ふとんは洗濯しない

厚手のふとんは洗濯中に破れるおそれがあるので洗濯しないでください。(キルティング加工したこたつふとんや化繊のふとんは洗濯できます)



洗濯機の後ろ側などには入らない

洗濯機の後ろ側に入ったり、上に乗ったりしないでください。可動部や高温部に触れて、けがや、やけどをするおそれがあります。



給湯に使用する温水は 60℃以下にする

給湯に使用する温水は60℃以下にしてください。高温水を使用すると衣類を傷めたり、プラスチック部品の変形や傷みにより感電や漏電がおこるおそれがあります。



⚠注意

防水性の衣類を入れない

防水性のシートや衣類は、洗い・すすぎ・脱水をしないでください。脱水中に異常振動を起こし、機械が破損したり、衣類が損傷するおそれがあります。



水（湯）が入ったままで停止したときは、管理者に連絡する

感電や漏電をおこしたり、またやけどをするおそれがあります。ドアを開けずに管理者に連絡をしてください。



洗濯物は適正な量で使用する

ドアに衣類が挟まらないように入れてください。また、衣類1枚などの極端に少ない量や、最大洗濯容量を超える量での洗濯運転も行わないでください。洗いやすすぎが悪くなるばかりか、衣類を痛めるおそれがあります。



冬場、凍結のおそれがあるときは

配管に凍結のおそれがある場合は、給水、給湯ホースから水抜きを行い、凍結によるホース破損を防止してください。ホースが破裂すると水漏れが生じ、感電や漏電のおそれがあります。

(☞ ページ 38)



給湯用ストレーナー、給湯弁の掃除は、温度が十分下がってから行う

掃除を行うときは必ず元バルブを閉め、温度が十分下がってから行ってください。温度が高いまま掃除を行うと、やけどをするおそれがあります。



衣類の取り出しは停止してから

衣類は洗濯機の回転が完全に停止してから取り出してください。衣類が動いているときは、手などに巻きついてけがをするおそれがあります。



ドラム内に衣類以外の物を入れない

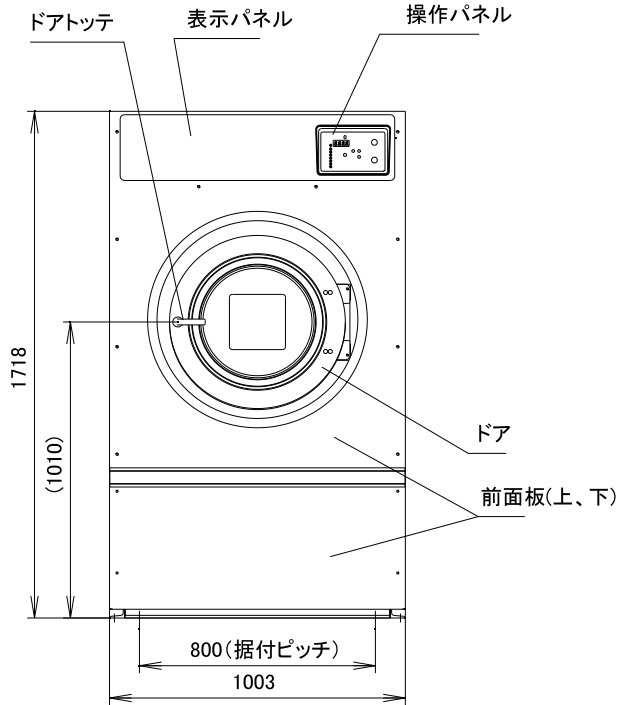
ドラム内にはくつやぬいぐるみなどの衣類以外の物や人、動物を入れて運転しないでください。破損の原因となったり、また人や動物には非常に危険です。



各部の名称と外形寸法

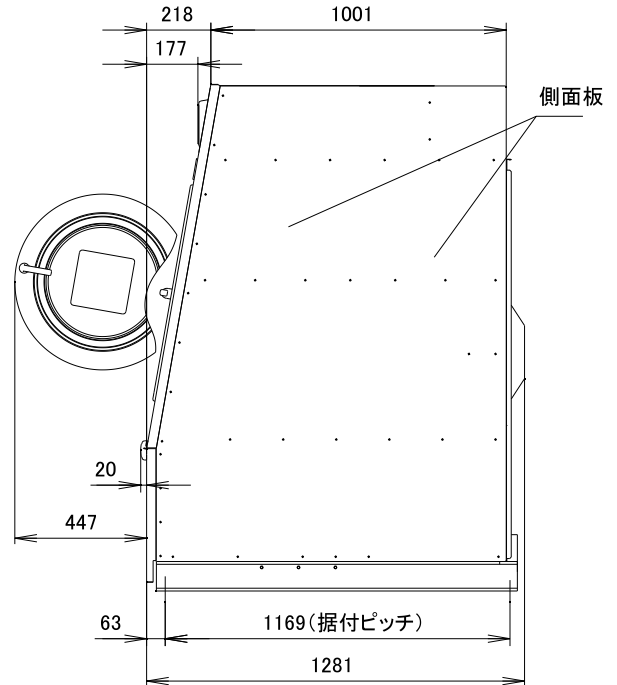
[HCW-5276WH]
[HCW-5206WH]

[HCW-5276WH/5206WH]



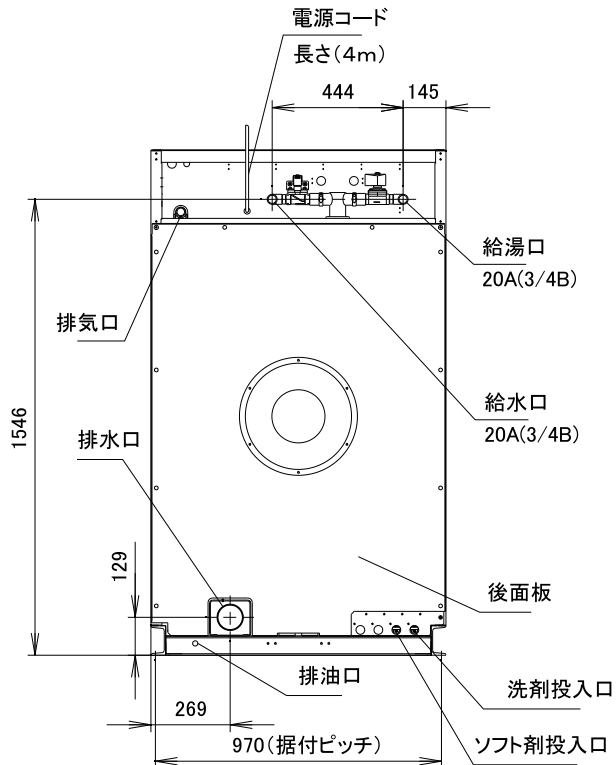
(前面)

[HCW-5276WH]



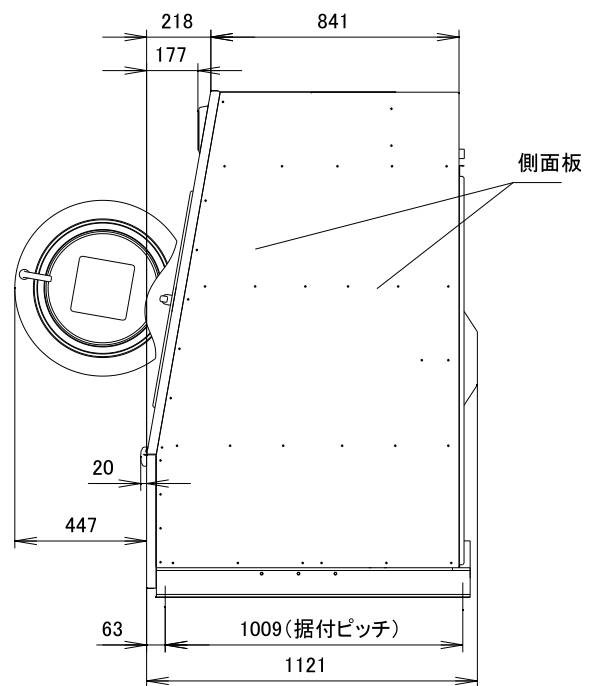
(側面)

[HCW-5276WH/5206WH]



(後面)

[HCW-5206WH]



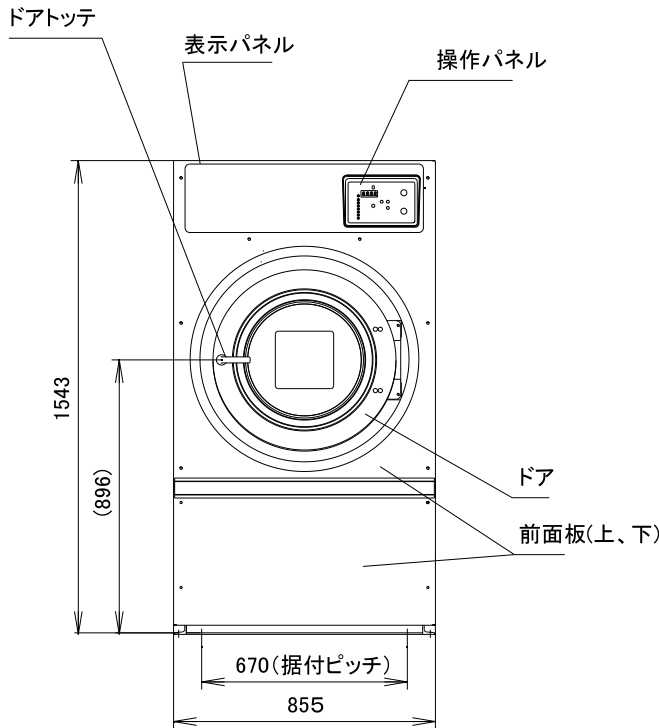
(側面)

各部の名称と外形寸法

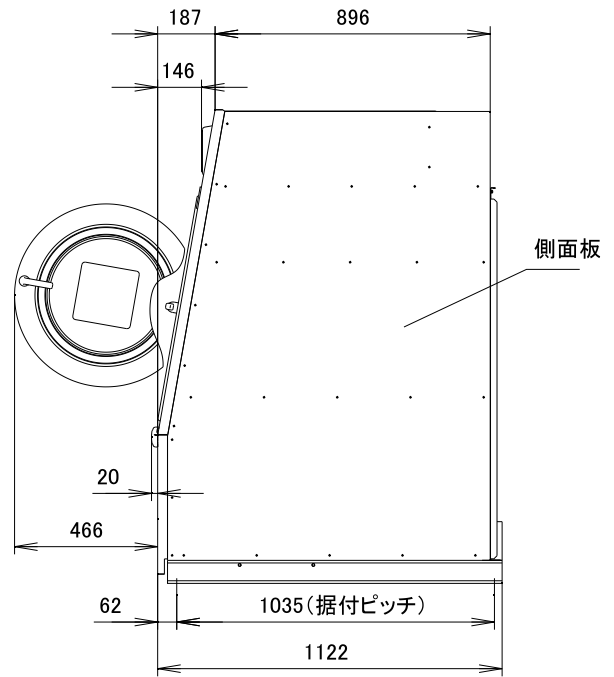
[HCW-5156WH
 HCW-5106WH
 HCW-5106SA]

[HCW-5156WH/5106WH/5106SA]

[HCW-5156WH]



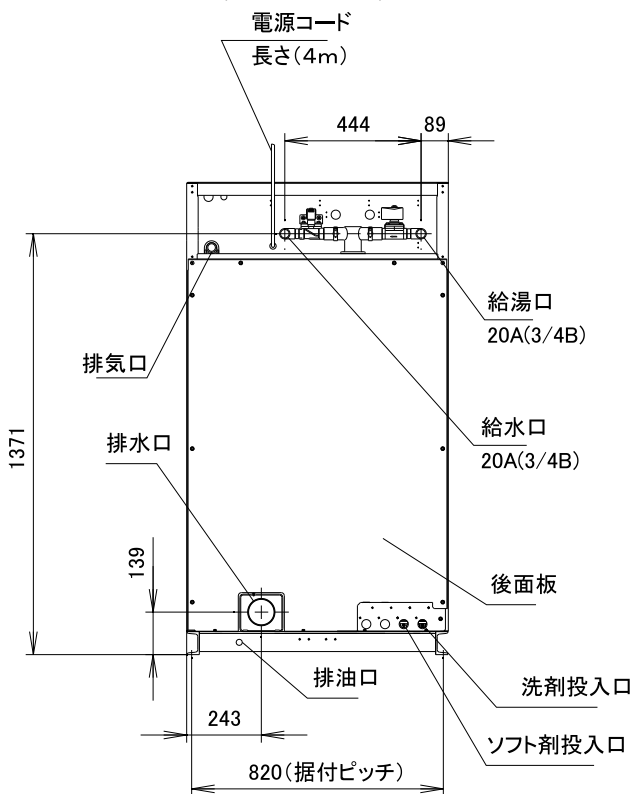
(前面)



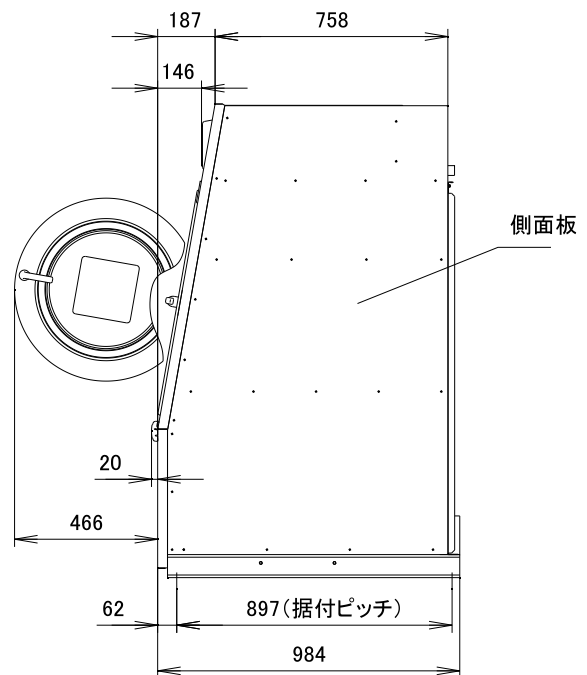
(側面)

[HCW-5156WH/5106WH/5106SA]

[HCW-5106WH/5106SA]



(後面)



(側面)

操作部の名称とはたらき

4桁数字LED

- プログラム番号を表示します。
- 運転が始まると残りの運転時間を表示します。
- トラブルモニターの内容を表示します。

行程ボタン

- 運転前に押すと行程を早送りします。
- プログラム変更時に押すと行程を送ります。

電源スイッチ

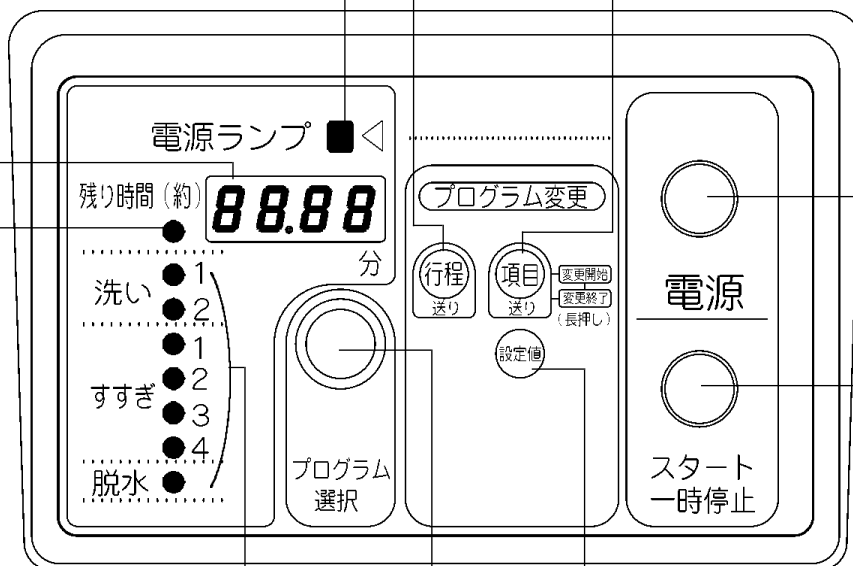
- スイッチを押すと電源が入り、電源ランプが点灯します。

電源ランプ

- 電源が入ると点灯します。

項目ボタン

- プログラム変更時に押すと変更できる項目を送ります。
- プログラム変更の開始及び終了を行います。



行程表示ランプ

- 運転中の行程が点滅し、プログラムの進行状況を知らせます。

設定値ボタン

- プログラム変更時に各項目の設定値を変更します。

残り時間ランプ

- 運転中に点灯し、一時停止中には点滅します。

プログラム選択ボタン

- プログラム番号の選択、変更ができます。

スタートスイッチ

- スイッチを押すと運転を開始します。
- 運転中にスイッチを押すと運転を一時停止します。

試運転モニターの運転方法



- 据付時には試運転モニター P56 の運転を必ず行ってください。
- 試運転モニターの運転により各行程の動作確認ができます。保守点検時の各行程の動作確認にご利用ください。

準備

- 洗濯物を入れない。(SPIN(脱水)を除く)

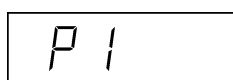
- ①電源元のブレーカーを入れる。
- ②給水、給湯の元バルブを開く。
- ③ドアを閉じる。

例：試運転モニター P56 の運転

1 電源スイッチを押す



電源

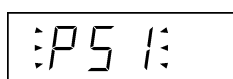


- 電源ランプが点灯します。
- 前回運転したプログラム番号を表示します。
＜例：前回 P1 の場合＞

2 プログラム選択ボタンを 10 秒以上押す



プログラム選択

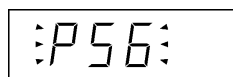


- プログラム選択ボタンを 10 秒以上押し、P51 を点滅表示させます。
- ドアが開いているとカウンターを表示します。
(☞ ページ 22)

3 プログラム選択ボタンを何回か押す



プログラム選択



- プログラム選択ボタンを何回か押して、P51～P60、SPIN(脱水)の希望の試運転プログラム番号を点滅表示させます。

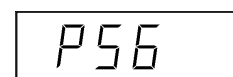
- プログラム番号は、プログラム選択ボタンを押すごとに
→P51 点滅→点灯→P56 点滅→点灯 ---SPIN 点滅→点灯

に切り替ります。

4 プログラム選択ボタンを押す



プログラム選択



- プログラム番号が点滅から点灯にかわり、ドアが閉じていれば、試運転プログラムを開始します。
- 運転が終了すると、次のプログラム番号を点滅表示します。再度プログラム選択ボタンを押すと点滅表示中の試運転プログラムを開始します。ただし、SPIN(脱水)の運転を終了したときは、次のプログラム番号を表示せず試運転モニターを終了します。

- 運転途中でプログラム選択ボタンを押すと、そのプログラムを終了し、次のプログラム番号を点滅表示します。

5 試運転モニターの終了

- プログラム番号 SPIN(脱水)の運転を終了したときに試運転モニターも終了します。
- プログラム番号点滅中にプログラム選択ボタンを 10 秒以上押し続けると終了します。
- プログラム番号点滅中に 5 分以上プログラム選択ボタンを押さないと終了します。

試運転モニターについて

- 据え付け時の試運転、保守点検時に各行程の動作を単独または、連続で確認することができます。
(プログラム P56 は連続動作、その他のプログラムは単独動作)
- 試運転モニターの運転は、試運転モニターの運転方法 (☞ ページ 8) の手順に従ってください。
- SPIN (脱水) 以外は洗濯物は入れないでください。

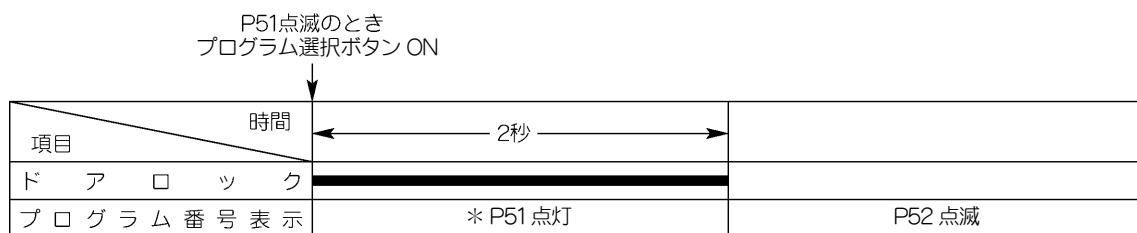
試運転プログラム

試運転の行程	表示	点検できる項目
①ドアロック	P51	<ul style="list-style-type: none"> ● ドアのロックと解除の動作 ● ドアロックソレノイドの動作 ● ドアスイッチ、ドアロックスイッチの動作
②洗剤、ソフト剤、 助剤ポンプ	P52	<ul style="list-style-type: none"> ● 洗剤、ソフト剤ポンプの投入時間と動作 ● 助剤ポンプの投入時間と動作
③給水、給湯弁	P53	<ul style="list-style-type: none"> ● 給水、給湯弁の動作 ● 水位センサーの動作 ● モーターの動作
④排水弁	P54	<ul style="list-style-type: none"> ● 排水弁の動作
⑤脱水	P55	<ul style="list-style-type: none"> ● 排水弁の動作 ● 水位センサーの動作 ● モーターの動作 ● 振動スイッチの動作
⑥モニター全行程	P56	● 上記 P51 ~ P55 の連続動作
⑦洗剤ポンプ	P57	● 洗剤ホースのエア抜き
⑧ソフト剤ポンプ	P58	● ソフト剤ホースのエア抜き
⑨助剤 1 ポンプ*	P59	● 助剤 1 ホースのエア抜き
⑩助剤 2 ポンプ*	P60	● 助剤 2 ホースのエア抜き
⑪ SPIN (脱水)	SPIN	● 洗濯物による脱水運転動作

* 助剤 1、助剤 2 ポンプはオプション部品です。

各行程の動作

①ドアロック [表示 : P51 点灯 → P52 点滅]



* ドアロックできない場合は、ドアロック不良 "H00" を表示。

③給水、給湯弁 [表示：P53 点灯→ P54 点滅]

④排水弁 [表示：P54 点灯→ P55 点滅]

P52点滅のとき
プログラム選択ボタン ON

項目	時間							
	設定投入時間 + 22 秒							
	1秒	1秒	*2 設定時間	*2 設定時間	*2 設定時間	*2 設定時間	5秒	15秒
ドアロック	ON							
給水弁	ON							
洗剤ポンプ			ON					
ソフト剤ポンプ				ON				
助剤1ポンプ*1					ON			
助剤2ポンプ*1						ON		
ドラム右回転							ON	
排水弁	閉							開
プログラム番号表示	P52点灯							P53点滅

*1 助剤1、助剤2ポンプはオプション部品です。設置していない場合は動作しません。

*2 プログラムP1の工場出荷時の設定時間動作します。

②洗剤、助剤ポンプ [表示：P52 点灯→ P53 点滅]

P53点滅のとき
プログラム選択ボタン ON

項目	時間							
	給水時間 + 50 秒							
							25 秒	
ドアロック	ON							
給湯弁	ON		ON		ON			
給水弁		ON		ON		ON		
ドラム左回転		ON		ON		ON		
ドラム右回転	ON		ON		ON			
水位*		1度	3度	5度	7度	9度	9度	
排水弁	閉							
プログラム番号表示	P53点灯							P54点滅

*各水位到達ごとにブザーが鳴りドラムと給水弁・給湯弁が5秒間停止します。

洗剤、ソフト剤投入時間（量）の設定は、ページ 17～21 の手順に従ってください。

P54 点滅のとき
プログラム選択ボタン ON

項目	時間	
	排水時間	
ドアロック	ON	
ドラム右回転	ON	
水位*	9度～1度以下	
排水弁	開	
プログラム番号表示	P54点灯 ソフト剤なしボタン ON	
	5秒	P55点滅

*P53 終了時は水位 9 度。他のプログラム終了後に運転する時は、水位が異なります。

⑤脱水 [表示：P55 点灯→ P56 点滅]

P55 点滅のとき
プログラム選択ボタン ON

項目	時間	
	約2分	約7分
ド ア ロ ッ ク	約7分	
排 水 弁		開
ド ラ ム 右 回 転	約7分	
脱 水 行 程	バランス制御	脱水
プ ロ グ ラ ム 番 号 表 示	P55点灯	
	P56点滅	

⑥モニター全行程 [表示：P56 点滅のときプログラム選択ボタン ON → P56 点灯→ P51 ~ P55 を運転→ P57 点滅]

- 試運転プログラムの P51 ~ P55 の動作を自動的に連続して行います。

⑦洗剤ポンプ [表示：P57 点灯→ P58 点滅]

P57 点滅のとき
プログラム選択ボタン ON

項目	時間			
	2秒	1分	5秒	排水
ド ア ロ ッ ク	排水時間 + 1分7秒			
給 水 弁				
洗 剤 ポ ン プ				
ド ラ ム 右 回 転				
排 水 弁	開	閉		開
プ ロ グ ラ ム 番 号 表 示	P57点灯			
	P58点滅			

⑧ソフト剤ポンプ [表示：P58 点灯→ P59 点滅]

P58 点滅のとき
プログラム選択ボタン ON

項目	時間			
	2秒	1分	5秒	排水
ド ア ロ ッ ク	排水時間 + 1分7秒			
給 水 弁				
ソ フ ト 剤 ポ ン プ				
ド ラ ム 右 回 転				
排 水 弁	開	閉		開
プ ロ グ ラ ム 番 号 表 示	P58 点灯			
	P59 点滅			

⑨助剤1ポンプ [表示：P59点灯→P60点滅]

P59点滅のとき
プログラム選択ボタン ON

項目	時間	排水時間 + 1分7秒			
		2秒	1分	5秒	排水
ドアロック		ON			
給水弁		ON			
助剤1ポンプ		ON			
ドラム右回転		ON			
排水弁		開	閉	閉	開
プログラム番号表示		P59点灯			P60点滅

⑩助剤2ポンプ [表示：P60点灯→SPIN点滅]

P60点滅のとき
プログラム選択ボタン ON

項目	時間	排水時間 + 1分7秒			
		2秒	1分	5秒	排水
ドアロック		ON			
給水弁		ON			
助剤2ポンプ		ON			
ドラム右回転		ON			
排水弁		開	閉	閉	開
プログラム番号表示		P60点灯			SPIN点滅

⑪ SPIN (脱水) [表示：SPIN点灯→試運転モニター終了]

SPIN点滅のとき
プログラム選択ボタン ON

項目	時間	約8分	
		約3分	5分
ドアロック		ON	
排水弁		開	
ドラム右回転		ON	
脱水行程		バランス制御	脱水
プログラム番号表示		SPIN点灯	

- SPIN (脱水) のプログラム終了後、試運転モニターを終了します。

運転のしかた



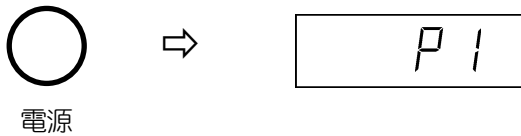
- プログラム番号 P 1～P 7までの7コース中から希望のコースを選択し運転を行います。
(工場出荷時の設定コースはページ 16。コースの設定変更はページ 17～21。)
- 洗剤、ソフト剤などの助剤は自動投入します。

準備

- ①電源元のブレーカーを入れる。
- ②給水、給湯の元バルブを開く。
- ③洗剤、ソフト剤などの助剤をセットする。(☞ ページ 14)
- ④洗濯物を入れる。
- ⑤ドアを閉じる。

例：プログラム番号 P 4の運転

1 電源スイッチを押す



電源

- 電源ランプが点灯します。
- 前回運転したプログラム番号を表示します。
〈例：前回 P 1の場合〉

2 プログラム選択ボタンを何回か押す



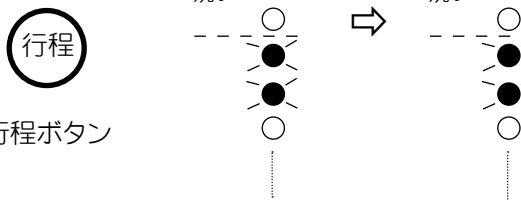
プログラム選択

(この場合は3回押す)

- P 1から P7 までの希望するプログラム番号を表示するまでプログラム選択ボタンを何回か押します。
- プログラム番号は、プログラム選択ボタンを押すごとに、
▶P1▶P2▶P3 ----- P7 ◀
に切り替ります。

3 行程ボタンを押し、運転開始する

行程を選ぶ



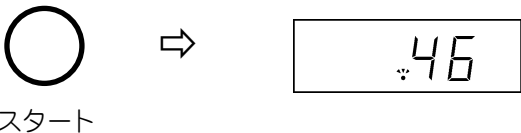
行程ボタン

例、行程ボタンを押すと、洗いが早送りされる。

- 最初に点灯している行程表示ランプの行程が選択されているプログラムの全行程です。
- 行程ボタンを押すと、点灯しているランプが上から順に消えていきます。ランプの消えた行程は早送りされ、ランプの点灯している行程から運転します。
- 行程ボタンを押していき、最後の行程に達した場合、もう一度押すと全行程表示に戻ります。

設定されているプログラムで運転する場合は行程ボタンを押す必要はありません。

4 スタートボタンを押す



スタート

- 点灯している行程から運転を開始し運転終了までの残り時間を分で表示します。
- 運転時間は目安時間です。実際の運転時間は給水圧および洗濯物により、本体の表示時間とは異なる場合があります。
- 運転中にプログラム選択ボタンを2秒間以上押すと、押している間プログラム番号を表示し、全行程を点灯します。

5 運転が終了すれば洗濯物を取り出す。



- ブザーが鳴り、「End」と表示されれば運転は終了です。ドアを開け、洗濯物を取り出してください。

[運転中の一時停止]

- 運転中にスタートスイッチを押すと、運転を一時停止します。再度押すことにより運転再開します。
- 運転中にドアを開けると一時停止します。ドアを閉めてスタートスイッチを押すと運転再開します。

[最大洗濯容量]

HCW-5276WH 27Kg
 HCW-5206WH 20Kg
 HCW-5156WH 15Kg
 HCW-5106WH/5106SA 10Kg

[運転の中止]

- 運転中に電源スイッチを OFF にすると、運転を中止しプログラムをキャンセルします。

衣類の重さの目安

ワイシャツ	約200g	パジャマ(上・下)	約500g
子供ズボン	約200g	半袖肌着	約110g
シーツ(シングル)	約500g	長袖肌着	約130g
タオルケット(薄手)	約400g	作業服(上・下)	約800g
タオルケット(厚手)	約1200g	バスタオル	約300g

日本電機工業会規格に準ずる

△注意

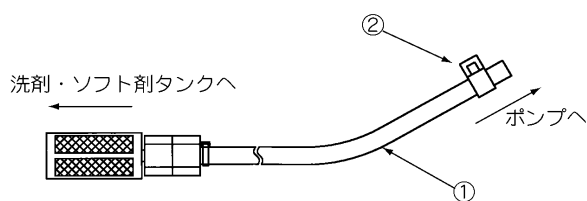
必ず最大洗濯容量以下で洗濯してください。洗濯物が多すぎると洗浄性が悪くなるばかりでなく、衣類事故につながります。また、ポケットの中を確認して、マッチやライター、ヘアピン、硬貨、くぎなどを取り出してください。衣類を傷つけたり、機械が破損するおそれがあります。

洗剤、ソフト剤のセット方法

- イラストに従い給液ホースをセットしてください。洗剤、ソフト剤は当社指定の製品をご使用ください。
- はじめてセットされた後、または洗剤、ソフト剤のタンク交換後に洗剤、ソフト剤が正しく注入されるよう、かならず試運転モニター P57、P58 (☞ ページ 8 ~ 12) を何回か行い、ホース内のエア抜きを行なってください。
- フィルターは必ずセットしてください。ごみの詰まりによるポンプの故障を防止します。

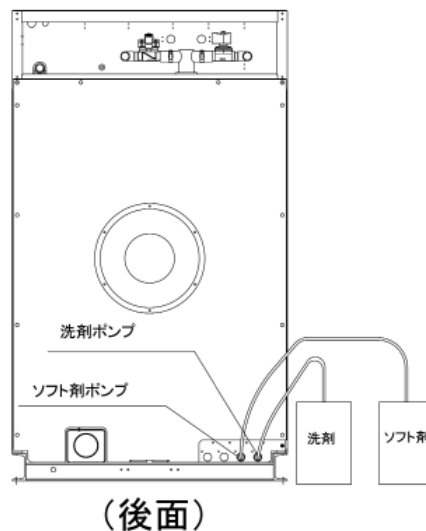
給液ホース2組 (付属品)

- ① ビニールホース (フィルター付き)
- ② ホースバンド (金属)



当社指定の洗剤・ソフト剤

洗剤	ソフト剤
テクノウォッシュ	テクノソフター
ケアウォッシュ	ケアソフター
抗菌プラス洗剤	抗菌プラスソフター



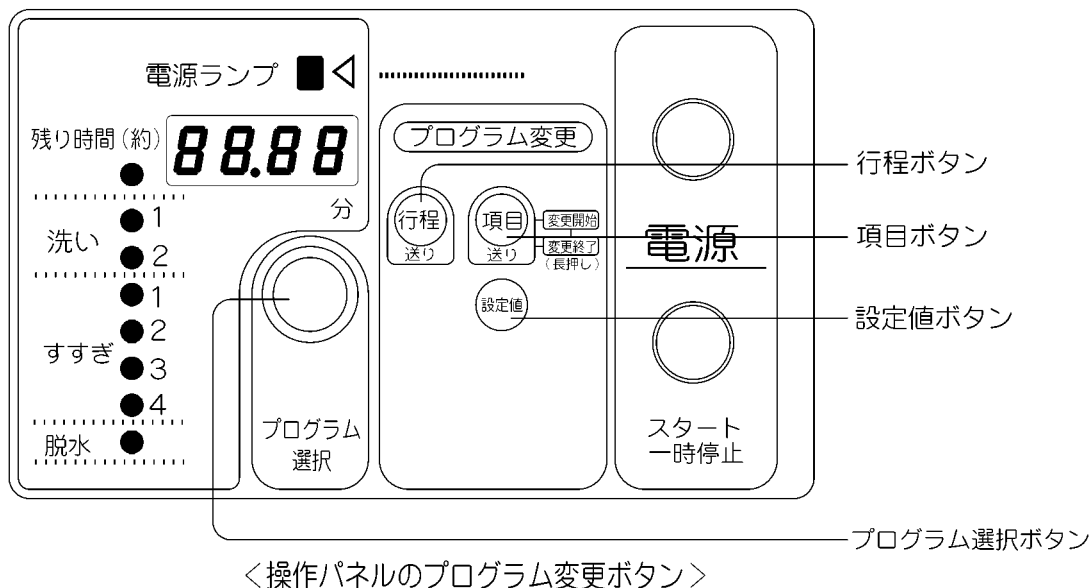
(後面)

ご注意

当社指定以外の洗剤、ソフト剤を使用される場合は、最適使用量 (☞ ページ 18) になるよう洗剤、ソフト剤投入時間 (量) の設定を必ず行ってください。(☞ ページ 17 ~ 21)

プログラム変更ボタンについて

操作パネルのプログラム変更ボタンには次のはたらきがあります。



名称	はたらき
プログラム選択ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 待機中……………①運転もしくは設定変更するプログラムを選択できます。 ②ドアを閉じて、10 秒間以上押し続けると試運転モニターになります。 ③ドアを開けて、10 秒間以上押し続けるとカウンター(運転回数)を表示します。(☞ページ 22) プログラム変更中……10 秒間押し続けると、工場出荷時の設定に戻ります。
行程ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 待機中……………プログラムの途中の行程から運転したい時に、行程の早送りに使用します。 プログラム変更中……設定を変更する行程を選択します。
項目ボタン	<ul style="list-style-type: none"> 待機中……………2秒間以上押し続けると、表示されているプログラムの設定の変更を開始できます。 プログラム変更中……①設定を変更する項目を選択します。 ②2秒間以上押し続けると、変更した設定内容をプログラムに書き込み、プログラム変更を終了します。
設定値ボタン	<ul style="list-style-type: none"> プログラム変更中……表示されている項目の設定値を変更します。

プログラムの内容

工場出荷時のプログラム

- 工場出荷時には、あらかじめプログラム番号 P 1 から P 7 に、7 種類の洗濯コースを設定しています。(表 1)
- 各プログラム番号の設定内容を変更する場合はページ 17 ~ 21 のプログラムの設定方法の手順に従ってください。

表 1. 工場出荷時のプログラム内容

洗濯コース	洗濯物	特徴	行程	行程時間(分) ※	設定値						
					洗い, すすぎ時間	冷水位	温水位	助剤	ドラム回転	脱水時間	脱水回転
P1	一般衣類 (標準)	通常の洗濯物 洗い: 水+湯 すすぎ: 水 標準時間コース 運転時間: 31分	洗い1	12	5	6	6	洗剤	強	4	高
			洗い2								
			すすぎ1	8	4	7		強	1	高	
			すすぎ2								
			すすぎ3	3	2	4	ソフト剤	強			
			すすぎ4								
	脱水	8						4	高		
P2	一般衣類 (おいそぎ)	通常の洗濯物 洗い: 水+湯 すすぎ: 水 短縮時間コース 運転時間: 28分	洗い1	10	3	6	6	洗剤(注1)	強	4	高
			洗い2								
			すすぎ1	7	3	7		強	1	高	
			すすぎ2								
			すすぎ3	3	2	4	ソフト剤	強			
			すすぎ4								
	脱水	8						4	高		
P3	一般衣類 (念入り)	通常の洗濯物 予洗: 水 洗い: 水+湯 すすぎ: 水 予洗付きコース 運転時間: 42分	洗い1	10	6	6		洗剤	強	1	高
			洗い2	13	6	6	6	洗剤	強	4	高
			すすぎ1	8	4	7		強	1	高	
			すすぎ2								
			すすぎ3	3	2	5	ソフト剤	強			
			すすぎ4								
	脱水	8						4	高		
P4	タオル	タオル 洗い: 水+湯 すすぎ: 水 運転時間: 31分	洗い1	12	5	6	6	洗剤(注1)	強	4	高
			洗い2								
			すすぎ1	8	4	7		強	1	高	
			すすぎ2								
			すすぎ3	3	2	5	ソフト剤	強			
			すすぎ4								
	脱水	8						4	高		
P5	毛布	毛布 洗い: 水+湯 すすぎ: 水 運転時間: 42分	洗い1	15	8	6	6	洗剤(注2)	強	4	高
			洗い2								
			すすぎ1	8	4	7		強	1	高	
			すすぎ2	6	2	7		強	1	高	
			すすぎ3	3	2	5	ソフト剤	強			
			すすぎ4								
	脱水	10						6	高		
P6	ドラム洗い	ドラム洗いのみ すすぎ: 水 運転時間: 5分	洗い1								
			洗い2								
			すすぎ1	5	1	5		強	1	低	
			すすぎ2								
			すすぎ3								
			すすぎ4								
	脱水										
P7	脱水	脱水のみ 運転時間: 8分	洗い1								
			洗い2								
			すすぎ1								
			すすぎ2								
			すすぎ3								
			すすぎ4								
	脱水	8						4	高		

※給水圧が 0.2MPa (2 kg / cm²) のときの目安時間です。

※給水、給湯時間は、給水圧と設定水位により異なります。

※脱水のとき、ドラム内で洗濯物の片寄りが大きい場合は、運転時間が長くなる場合があります。

※行程時間は、洗い、すすぎ時間及び脱水時間の設定時間に、給水、排水、バランス制御の時間を加えた時間になります。(給水、排水、バランス制御時間は変更できません。)

注 1、工場出荷時のプログラム番号 P2.P4 の洗剤投入時間は、ページ 18、表 3 の標準時間 - 1 秒 (テクノウォッシュ) に設定されています。

注 2、工場出荷時のプログラム番号 P5 の洗剤投入時間は、ページ 18、表 3 の標準時間 + 1 秒 (テクノウォッシュ) に設定されています。

各種設定のしかた

各種設定の内容

- 設定項目および設定内容は表2のとおりです。

表2. 各種設定の内容

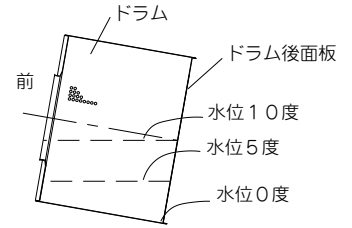
設定項目 (表示)	設定内容	説明
洗いまたは すすぎ時間 (Fun)	0~30分 (1分単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗いまたはすすぎの時間を設定できます。 ・ 給水、給湯時間は含みません。
冷水位 (Cold)	0~12度 ※注1 (1度単位) ※注2 (☞ページ18)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷水、温水の水位を設定できます。 ・ 冷水、温水の水位を同じ水位に設定した場合は、冷水と温水が同時に入ります。(ミキシング) ・ 冷水、温水の水位設定が異なる場合、低い水位設定側を優先し、その後高い水位設定側に切り替わります。 (例) 冷水位: 3度、温水位: 5度 冷水だけを3度まで給水し、その後温水だけを5度まで給湯します。 (同時に入ることはありません)
温水位 (Hot)	0~12度 ※注1 (1度単位) ※注2 (☞ページ18)	※注1 行程時間が0分でない場合は、洗浄性を保つため冷水、温水のどちらかの水位を3度以上にしてください。(ページ21、表5参照)
洗剤投入時間 (SOAP)	0~60秒 (1秒単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗剤の投入時間を設定できます。 ・ 工場出荷時の設定値は当社指定の洗剤(テクノウォッシュ、ケアウォッシュ、抗菌プラス洗剤)で最適な時間です。 ・ 洗剤投入時間(量)の動作確認は、試運転モニター(☞ページ9)のプログラムP52で行うことができます。
ソフト剤 投入時間 (SOFT)	0~60秒 (1秒単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ソフト剤の投入時間を設定できます。 ・ 工場出荷時の設定値は当社指定のソフト剤(テクノソフター、ケアソフター、抗菌プラスソフター)で最適な時間です。 ・ ソフト剤投入時間(量)の動作確認は、試運転モニター(☞ページ9)のプログラムP52で行うことができます。
助剤1 投入時間 (OPT1)	0~60秒 (1秒単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・ オプションの助剤投入装置を取り付けた場合、助剤1の投入時間を設定できます。 ・ オプションの助剤投入装置を取り付けた場合のみ設定してください。 ・ 助剤1投入時間(量)の動作確認は、試運転モニター(☞ページ9)のプログラムP52で行うことができます。
助剤2 投入時間 (OPT2)	0~60秒 (1秒単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・ オプションの助剤投入装置を取り付けた場合、助剤2の投入時間を設定できます。 ・ オプションの助剤投入装置を取り付けた場合のみ設定してください。 ・ 助剤2投入時間(量)の動作確認は、試運転モニター(☞ページ9)のプログラムP52で行うことができます。
ドラム回転強さ の切替え	8on↔2OFF(強) (交互に点灯) 2on↔8OFF(弱) (交互に点灯) から選択	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗いまたはすすぎの反転周期を、 強: 8秒回転、2秒停止 弱: 2秒回転、8秒停止 のどちらかに切り替えることができます。
脱水時間 (SP-t)	0~10分 (1分単位)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脱水時間を設定できます。 ・ 回転数上昇中の時間を含みます。
脱水回転数の 切替 (SP-in)	SP (低) SP = (中) SP ≡ (高) から選択	<ul style="list-style-type: none"> ・ 脱水行程の最高回転数と中間脱水の回転数の切り替えができます。 ・ 設定値と回転数の関係はページ18の表4を参照してください。

※行程時間が0分の行程は飛びこえて、次の行程に進みます。(行程時間が0分の場合、各項目が設定されていても動作しません。)

※洗い1～すすぎ4の各行程ごとにそれぞれの項目を設定できます。

※脱水行程では脱水時間及び脱水回転数の切替のみ設定できます。

※注2 水位度数はドラム(洗濯槽)に給水したとき、ドラム後面板の中心を10度として表現しています。ドラムの直径、奥行きは機種によって異なるため、前から見た水位は異なります。(右図参照)



●運転時間は目安時間です。給水時間はページ38の図を参照ください。

表3. 洗剤、ソフト剤の標準投入時間

機種	洗剤	ソフト剤
	テクノウォッシュ/ケアウォッシュ/ 抗菌プラス洗剤	テクノソフト/ケアソフト/ 抗菌プラスソフト
HCW-5276WH	9秒	5秒
HCW-5206WH	7秒	4秒
HCW-5156WH	5秒	3秒
HCW-5106WH/SA	4秒	2秒

※ 水位6度のときの投入時間です。

表4. 脱水回転数の設定値と回転数の関係

機種 設定値	HCW-5276WH HCW-5206WH		HCW-5156WH HCW-5106WH HCW-5106SA	
	最高回転	中間脱水	最高回転	中間脱水
SP ≡	800	600	850	600
SP =	720	500	720	500
SP -	600	400	600	400

r p m

設定方法



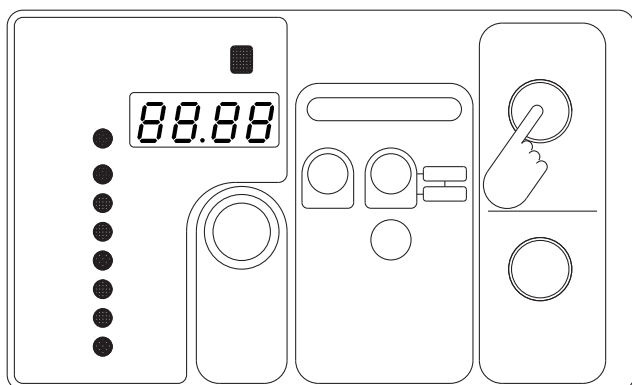
- 設定は操作パネルのプログラム変更用ボタン（行程、項目、設定値ボタン）により行います。（プログラム変更用ボタンについてはページ 15 を参照してください。）
- 設定は停止中（待機中）のみ行えます。
- 設定後は必ず項目ボタンを2秒間以上押し続けて設定を終了してください。

準備

- 電源元のブレーカーを「入」にする。

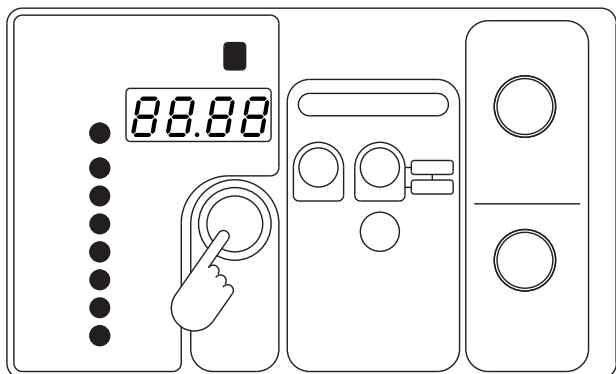
- 設定方法は次のとおりです。

1. 電源スイッチを押し、電源を入れます。

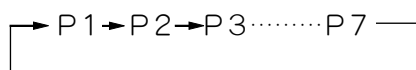


- 電源ランプが点灯し、前回運転したプログラム番号を表示します。

2. プログラム選択ボタンを押して、設定を変更したいプログラム番号を表示させます。

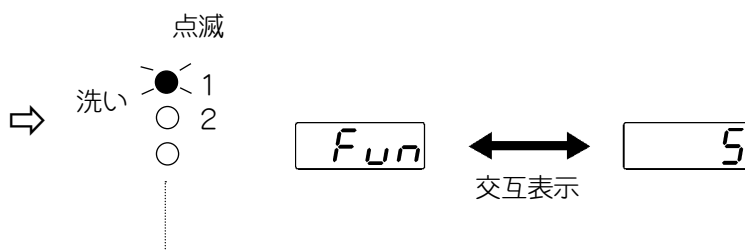
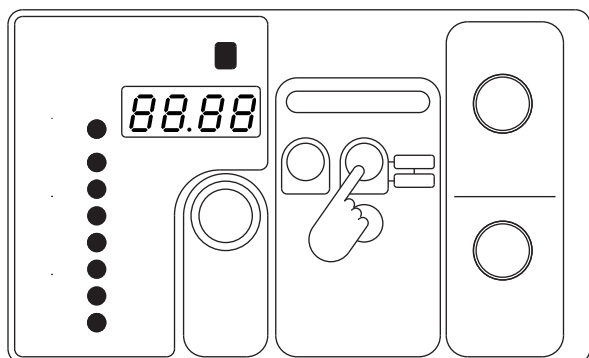


- プログラム番号は、プログラム選択ボタンを押すごとに



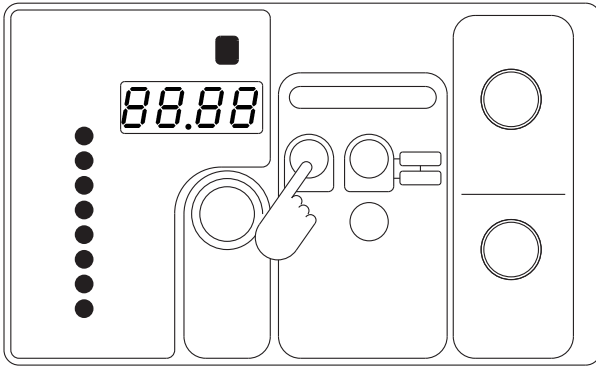
に切り替わります。

3. 項目ボタンを2秒間以上押し続けると、短いブザーが鳴るとともに、行程表示ランプの洗い1が点滅し、4桁表示LEDに行程時間を表す「Fun」（分）と設定値が交互に表示されます。

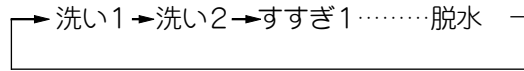


項目ボタンを2秒間押し

4. 行程ボタンを押すと、行程表示ランプが順次点滅していき、行程を選択することができます。

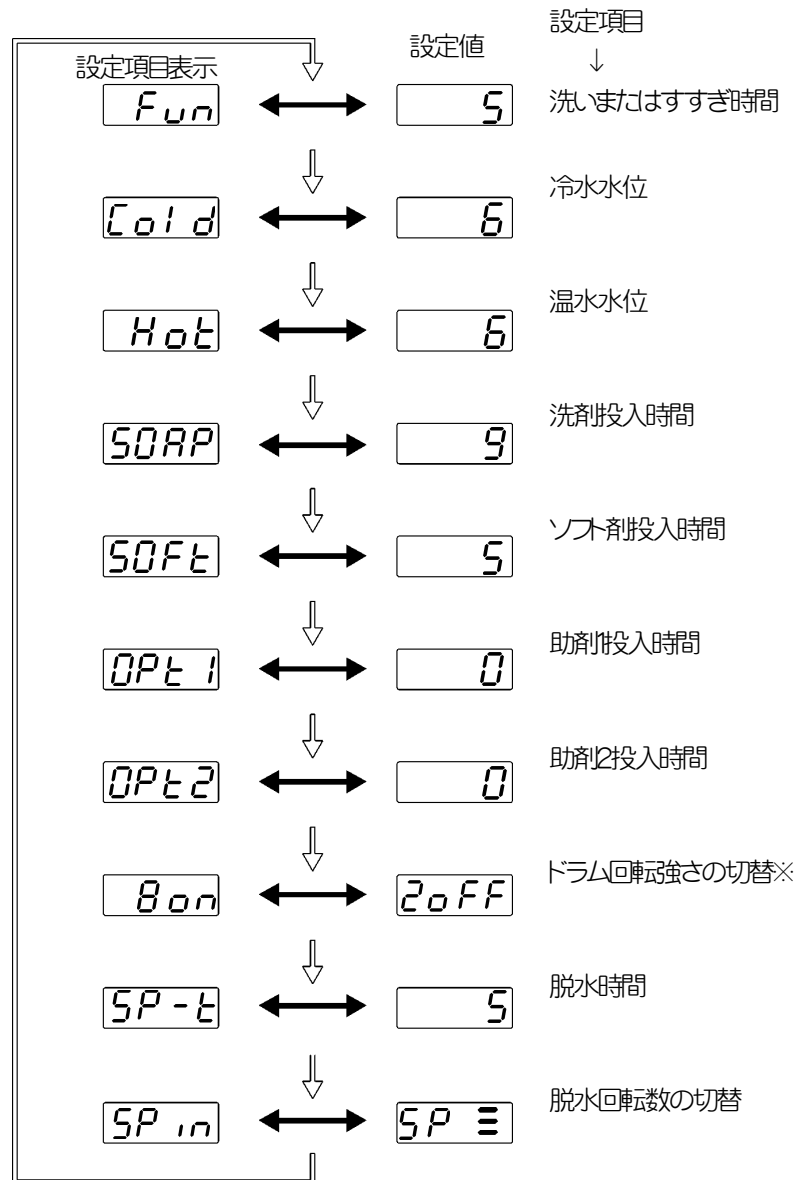
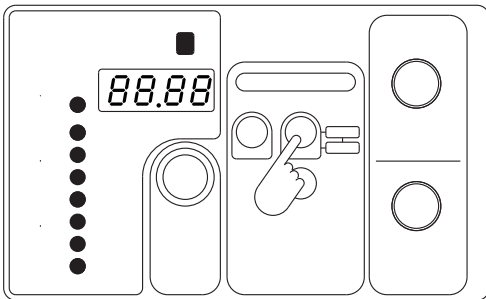


- 点滅している行程が現在選択している行程です。
- 選択している行程は、行程ボタンを押すごとに



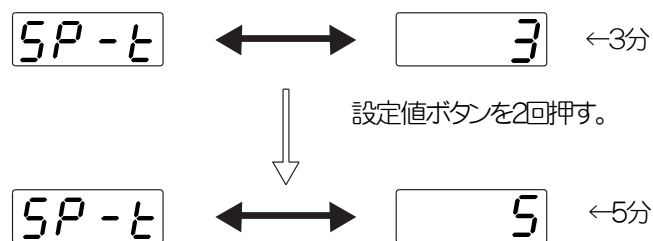
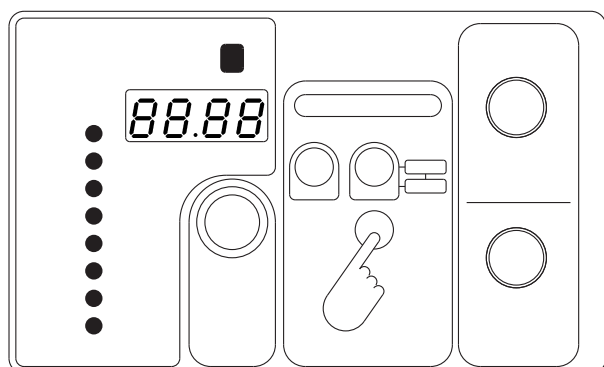
に切り替わります。

5. 行程の選択後、項目ボタンを押すごとに4桁数字LEDの表示が変わり、設定項目を選択することができます。



※ドラム回転強さの切替については、設定項目表示はせず、設定値の“8on”と“2oFF”を交互に表示します。

6. 変更したい設定項目を選択後、設定値ボタンを押して設定値を変更します。
 (設定内容についてはページ 17 の表 2. 各種設定の内容を参照してください。)
 例. 脱水時間を“3分”から“5分”にする場合



(設定値ボタンを押し続けると(2秒間以上)設定値は自動で早送りされます。)

7. 4、5、6をくり返し、任意の行程、項目の設定を変更します。

最後に項目ボタンを2秒間以上押し続け、「ピーッ」という長いブザーが鳴ると変更内容が書き込まれ、設定変更を終了します。(4桁数字LEDの表示は通常表示(停止中の表示)に戻ります。)

変更内容は P.38 のプログラム設定内容記録表に記入し、保管して下さい。



2秒間押し続ける

(必ず押し続けてください。押さなければ変更した内容が書き込まれません。)

※設定エラーについて

表5で示すような設定内容で書き込もうとした場合、設定エラーとなります。正しく設定しなおして、再度書き込んでください。

表5. 設定エラー

原因	表示	対処
洗いまたはすすぎ時間が0分でない行程で、冷水位、温水位ともに2度以下の場合。	ピッピッピとブザーが鳴り、冷水位、温水位ともに2度以下に設定されている行程の冷水位設定「Cold」を表示します。	冷水位、温水位のどちらかを3度以上に設定し、再度書き込みを行ってください。
洗い1～すすぎ4の全行程の洗いまたはすすぎ時間と、脱水行程の脱水時間を全て0分に設定した場合。(全運転時間が0分の場合)	ピッピッピとブザーが鳴り、洗い1行程の洗い時間設定「Fun」を表示します。	全運転時間が0分にならないよう、洗い1～すすぎ4の洗いまたはすすぎ時間、脱水行程の脱水時間を設定し、再度書き込んでください。

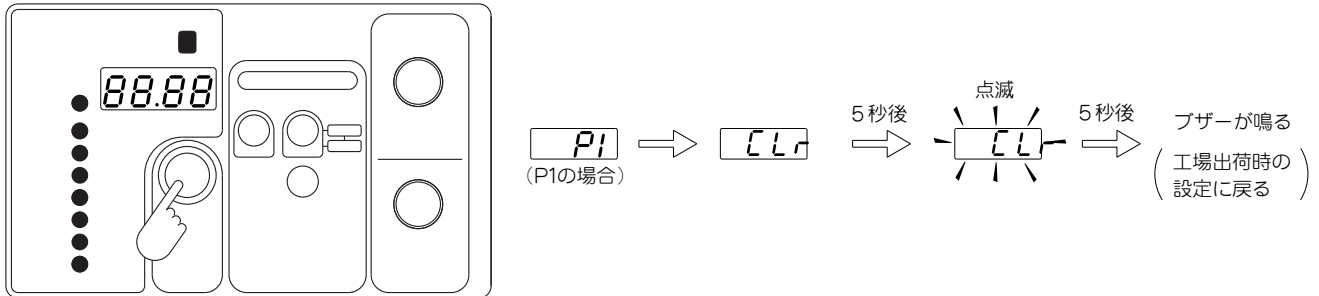
ご注意	<p>下記の場合、設定変更した内容が書き込まれません。このときは、もう一度設定しなおしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定中に5分間どのボタン(スイッチ)も押さなかった。 ● 設定中にプログラム選択ボタン、電源スイッチを押した。 ● 設定中に電源が切れた。
-----	---

工場出荷時の設定に戻すには

●プログラムごとに工場出荷時の設定に戻すことができます。

1. プログラム設定中（☞ ページ 19 の 3～ページ 21）にプログラム選択ボタンを 10 秒間以上押し続けます。

現在選択しているプログラム番号を表示した後、表示が「CLr」の点灯から点滅にかわり、ブザーが鳴ると設定を行っていたプログラムの内容が工場出荷時の設定（☞ ページ 16）に戻ります。



プログラム設定中に、プログラム選択ボタンを押し続ける

●プログラム設定で選択しているプログラムのみ工場出荷時の設定に戻ります。

ご注意	ブザーが鳴る前にプログラム選択ボタンをはなすと、工場出荷時の設定に戻りません。もう一度やり直してください。
-----	---

積算カウンターの表示

● 運転回数をモニターするためのカウンター機能です。

カウンター表示の内容

● カウンター表示の内容は以下のとおりです。

カウンター表示

カウンター記号	積算数の表示
CC	運転回数 0～999999

● 積算カウンターは、はじめに1～4桁、次に5～6桁を表示します。

カウンター表示のしかた



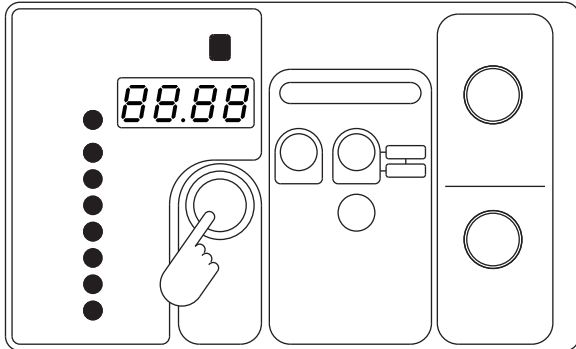
- カウンター表示は、操作パネルのプログラム選択ボタンにより行います。
- カウンターの表示は停止中（待機中）にモニターできます。
（運転中、試運転モニター中、トラブルモニター中はモニターできません）

準備

- 電源元のブレーカーを「入」にする。
- 電源スイッチを押し、電源を ON にする。

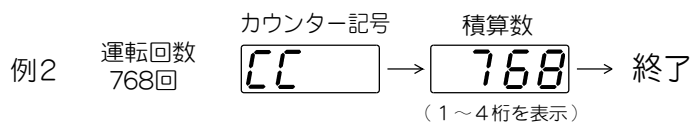
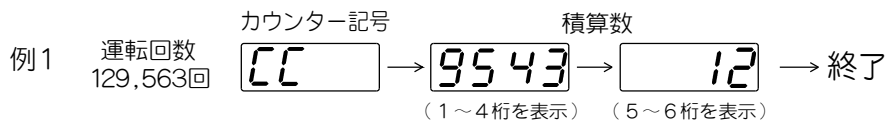
- 表示のしかたは次のとおりです。

1. 停止中（待機中）にドアを開ける。
2. プログラム選択ボタンを 10 秒間以上押し続けます。



3. 4桁数字 LED に、運転の積算回数を表示します。

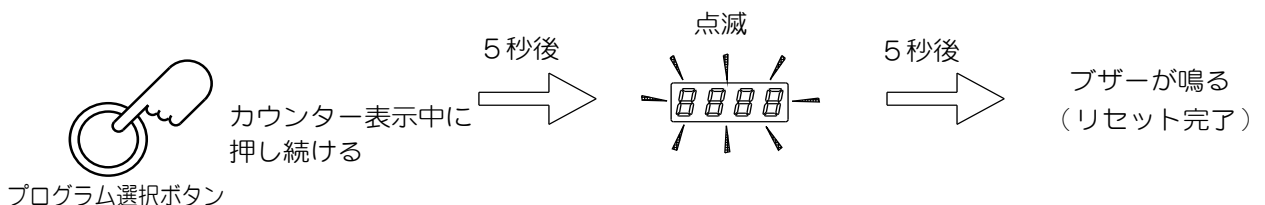
[カウンター表示例]



(終了後、カウンター表示前のプログラム表示に戻ります。)

- カウンター表示中は、プログラム選択ボタンを押すごとに次の桁数表示にかわります。
- 積算カウンターは最高 999999 まで表示し、それを超えると、0 に戻り積算を続けます。

4. カウンターをリセットするときは、カウンター表示中にプログラム選択ボタンを 10 秒間以上押し続けます。表示が点滅に変わり、ブザーが鳴るとリセット完了です。リセット完了後、4桁数字 LED の表示はカウンター表示前の表示に戻ります。



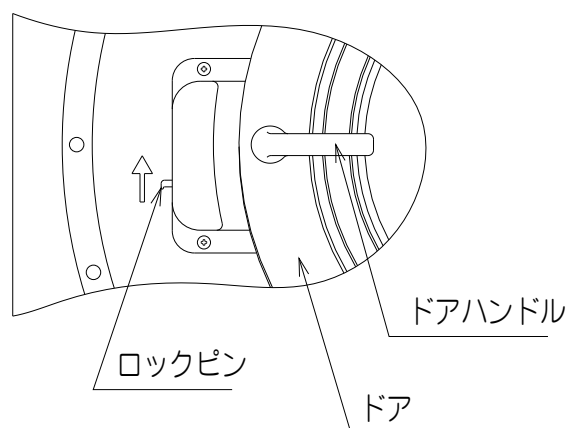
ご注意

- ブザーが鳴る前にボタンをはなすとリセットできません。もう一度やりなおしてください。

停電時の処置

- 運転中に停電になった場合、運転は停止し、排水弁は動作しません。またドアはロックされたまま開きません。
- どうしても洗濯物を取り出したいときは、水位がドアの最下部より低いとき（ドアを開けても水または湯が本体より溢れ出ない状態）に限り、ドアを開けてください。

1. ドアを開けても水または湯が本体より溢れ出ないことを確認。
2. 前面板（上、下）を取りはずす。
3. ロックピンを上へ持ち上げドアハンドルを回しドアを開ける。
4. 前面板（上、下）を元どおり取り付ける。
停電後、本体に通電されると、待機状態に戻ります。



⚠注意

停止中でもドラム内に水（湯）がたまっているときは、ドアを開けないでください。ドラム内の水が高温になっていることがありますので、やけどをするおそれがあります。また電気部品の冠水は、漏電や感電、ショートによる火災の原因になります。

トラブルモニターについて

- 本機には、万一トラブルが発生した場合、トラブルモニターによりその内容を表示します。
- トラブルが発生すると、
 - ① 自動的に運転を停止。
 - ② 表示部にトラブル番号と残り時間を交互に表示。
 - ③ ブザーが 10 秒間鳴る。

トラブルの処置

- トラブルが発生した場合、表示している番号を確認し、表 6 に従い確認と処置を行ってください。

表 6 トラブルの内容と処置

表示	トラブルの内容	確認項目と処置
F00	インバータ異常, モーター過熱	① 電源元ブレーカーを切り、修理を依頼する。
H00	ドアロック装置の不良	① ドアノブに詰まっているものがないか。 ② 処置後、プログラム選択ボタンを 10 秒以上押す。 (トラブルモニター解除)
H02	給水時の水量不足	① 給水元バルブが閉まってないか。 ② 給水用のストレーナーが詰まってないか。 ③ 処置後、プログラム選択ボタンを 10 秒以上押す。 (トラブルモニター解除)
H04	排水不良	① 排水口が詰まっていないか。 ② 処置後、プログラム選択ボタンを 10 秒以上押す。 (トラブルモニター解除)
H07	バランス不良	① 衣類のからまりを直したり、分散の悪い衣類を取り出す。 ② 処置後、プログラム選択ボタンを 10 秒以上押す。 (トラブルモニター解除)

トラブルモニターの解除

- プログラム選択ボタンを 10 秒以上押すとトラブルモニターを解除します。ただし、トラブルの内容によっては、ドアがロックされたまま開かないときや、ドラム内に水がたまったままでトラブルモニターが解除できない場合があります。
- トラブルモニターを解除すると、解除前の運転をキャンセルします。
- 表 6 の処置を行っても運転しない時は電源元ブレーカーを切り、お買い上げ販売店または当社の「お客さまご相談窓口」へご連絡ください。

△注意

- トラブル発生時は十分トラブルの原因を調べてから再スタートしてください。トラブルの原因を十分調べないまま何度も再スタートを行うと機械が故障したり、誤動作による事故や、漏電や感電、ショートによる火災の原因になります。
- 停止中でもドラム内に水（湯）がたまっているときは、ドアを開けないでください。ドラム内の水が高温になっていることがありますので、やけどをするおそれがあります。また電気部品の冠水は、漏電や感電、ショートによる火災の原因になります。

お手入れのしかた

1ヶ月に1回行うもの

1. 給水用ストレーナの清掃

- 水の汚れの程度によって異なりますが毎月1回、給水用ストレーナを清掃してください。

(清掃をおこなると、給水時間が非常に長くなったり、助剤(洗剤やソフト剤)がドラム内へ投入しにくくなります。)

- 清掃の手順
 - ① 給水の元バルブを閉める。
 - ② 試運転モニター P53(給水、給湯弁)を運転する。(☞ ページ 8 ~ 12)
 - ③ 運転終了後ストレーナ底部のネジを外す。
 - ④ 網を取り出し、付着物をブラシ等でこすりながら水で洗い流す。

2. 給湯用ストレーナの清掃

- 温水の汚れの程度によって異なりますが、毎月1回、給湯用ストレーナを清掃してください。

△注意

給湯用ストレーナの掃除を行うときは、ストレーナの温度が十分下がってから行ってください。温度が高いまま掃除を行うと、やけどをするおそれがあります。

(清掃をおこなると、給湯時間が非常に長くなります。)

- 清掃の手順
 - ① 給湯の元バルブを閉める。
 - ② 試運転モニター P53(給水、給湯弁)を運転する。(☞ ページ 8 ~ 12)
 - ③ 運転終了後ストレーナ部の温度が十分下がってからストレーナ底部のネジをはずす。
 - ④ 網を取り出し、付着物をブラシ等でこすりながら水で洗い流す。

ご注意

給水・給湯のストレーナとも据え付け時、配管工事後はゴミ、シールテープなどが詰まりやすいので特に念入りに清掃してください。

随時行うもの

1. 洗濯機本体の清掃

- 電源元ブレーカーを「切」にした後、洗濯機のフレーム、操作パネル、ドアなどを乾いた柔らかい布でふいてください。汚れのひどいときは中性洗剤を布に浸してからふいてください。タワシ、ミガキ粉、シンナー、ベンジン類は本体を傷付けますので絶対に使用しないでください。

2. ドアパッキンの清掃

- ドア内側のパッキンに、糸くず、ホコリ、洗剤カス、砂などが付着しますので、湿った布でふき取ってください。付着したまま使用すると水漏れの原因になるおそれがあります。

3. 給水及び給湯配管内の水抜き(冬季)

△注意

凍結のおそれがあるときは、配管内の水抜きを行ってください。凍結によるホースやパイプ、バルブの破損による水漏れでの漏電・感電を防止するためです。

(ただし別途水抜き配管(☞ ページ 37、38)の接続が必要です。)

- 水抜きの手順
 - ① 手元バルブを閉める。
 - ② 水抜き用のバルブを開ける。
 - ③ 試運転モニター P53(給水、給湯弁)を運転する。(☞ ページ 8 ~ 12)

△警告

この商品は遠心機械です。

この商品は法律により1年に1回の自主定期検査が必要です。

また、その記録を3年間保管するよう義務付けられています。

検査項目：①回転体の異常の有無、②主軸の軸受部の異常の有無、③ブレーキの異常の有無、

④外わくの異常の有無、⑤①～④に掲げる部分のボルトのゆるみの有無

(労働安全衛生法 第45条1項、労働安全衛生規則 第141条3項)

定期点検は、お買い上げの販売店または、当社の「お客さま相談窓口」へお申し付けください。

修理を依頼される前に

機械が正常に動作しないときは、必ずしも機械の故障でない場合もありますので、まず次の点をお調べください。

①表示部が点灯していない場合

- 電源元ブレーカーが確実に入っているか。

②表示部が点灯している場合

- ドアが確実に閉まっているかどうか。
- 表示部にトラブルが表示されている場合は、「トラブルモニターについて」を参考にして処置してください。(☞ ページ 25)
- 給水、給湯の元バルブが開いているか。

以上の点を調べても運転しないときは電源元ブレーカーを切り、早めにお買い上げ販売店へご連絡ください。

⚠警告

自分で絶対に分解や修理、改造はしないでください。感電やショートによる火災、異常動作によるけがのおそれがあります。

アフターサービスと保証について

1) この商品には、保証書を別途添付しています

ご購入の際は必ず保証書をお受け取りの上保存ください。尚、店名、ご購入年月日の記載のないものは無効となります。

2) 保証期間は設置日から1年間です

保証書の記載内容によりお買い上げ販売店が修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。

3) 保証期間経過後の修理については

お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

4) 補修用性能部品の保有期間について

当社は、この全自動洗濯機の補修用性能部品を製造打ち切り後、13年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5) 修理依頼時にご連絡いただきたい内容

以下の内容を事前に確認してご連絡ください。

- (1) 商品名 全自動洗濯機
- (2) 品番 (表示パネルに表示しています。)
- (3) お買い上げ日
- (4) お買い上げ販売店
- (5) 故障の状況 (できるだけ詳しく。)
- (6) 製造番号 (製品、保証書に記載してあります。)
- (7) おところ、おなまえ、電話番号
- (8) 訪問希望日

6) 修理やアフターサービスについてご不明の場合は

お買い上げ販売店または当社の「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

7) 外国での保証は

この商品を使用できるのは、日本国内のみで、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for domestic use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

⚠警告

- 自分で絶対に分解や修理、改造はしないでください。感電やショートによる火災、また異常動作によるけがのおそれがあります。
- 本機械を廃棄される場合は、本機械前面のドアを取りはずしてください。子どものいたずらによる閉じ込め事故を防ぐためです。

転居または移設の場合

- 転居または移設される場合には、お買い上げ販売店または当社の「お客さまご相談窓口」へご相談ください。この場合の費用は実費をいただきます。

仕 様

		HCW-5276WH	HCW-5206WH
最大洗濯容量		27 kg	20 kg
洗濯方式		回転ドラム式	
脱水方式		遠心脱水式	
ドラム回転数 (「高」設定時)	洗い	45 rpm	
	すすぎ	45 rpm	
	中間脱水	600 rpm (バランス状態により自動的に回転数を下げることがあります。)	
	最終脱水	800 rpm (バランス状態により自動的に回転数を下げることがあります。)	
ドラム寸法		φ800×597mm	φ800×434mm
定格消費電力(脱水)		1390W	1300W
洗濯時消費電力		870W	680W
モーター出力		3.7kW 6P (インバータドライブ)	
制御方式		マイクロコンピューター制御	
使用水量 ・プログラムP1 (内は濡れた衣類を最大容量入れた場合の水量)	洗い(水位6度)	149L (115L)	123L (92L)
	すすぎ1(水位7度)	149L	123L
	すすぎ2(水位4度)	92L	74L
	1 サイクル	390L (356L)	320L (289L)
配管口径	給水	20A (3/4B)	
	給湯	20A (3/4B)	
	排水	外形: 89mm (硬質塩化ビニル管 呼び径 75 用)	
電源		3相 200V 50/60Hz (共通)	
電源コードの長さ		約 4m	
外形寸法	幅	1003mm	1003mm
	奥行き	1301mm	1141mm
	高さ	1718mm	1718mm
製品質量		640 kg	620 kg

※電源電線は必ず据え付け工事編の「電気工事」に記載された容量以上のものを使用してください。

仕 様

		HCW-5156WH	HCW-5106WH/5106SA
最大洗濯容量		15 kg	10 kg
洗濯方式		回転ドラム式	
脱水方式		遠心脱水式	
ドラム回転数 （「高」設定時）	洗い	45 rpm	
	すすぎ	45 rpm	
	中間脱水	600 rpm（バランス状態により自動的に回転数を下げる場合があります。）	
	最終脱水	850 rpm（バランス状態により自動的に回転数を下げる場合があります。）	
ドラム寸法		φ650×510mm	φ650×370mm
定格消費電力（脱水）		740W	730W
洗濯時消費電力		550W	490W
モーター出力		1.5kW 6P（インバータードライブ）	
制御方式		マイクロコンピューター制御	
使用水量 ・プログラムP1 （内は濡れた衣類を最大容量入れた場合の水量）	洗い（水位6度）	87L（64L）	70L（50L）
	すすぎ1（水位7度）	90L	72L
	すすぎ2（水位4度）	54L	46L
	1 サイクル	231L（208L）	188L（168L）
配管口径	給水	20A（3/4B）	
	給湯	20A（3/4B）	
	排水	外形：89mm〔硬質塩化ビニル管 呼び径 75 用〕	
電源		3相 200V 50/60Hz（共通）	
電源コードの長さ		約 4m	
外形寸法	幅	855mm	855mm
	奥行き	1142mm	1004mm
	高さ	1543mm	1543mm
製品質量		440 kg	420 kg

※電源電線は必ず据え付け工事編の「電気工事」に記載された容量以上のものを使用してください。

付属部品（全機種共通）

部品	個数	仕様	用途
ストレーナ	2	BC製 120 ヶ月 20A（3/4B）（茶色）	給湯・給水配管用
排水ホース	1	軟質塩化ビニル 内径：89 mm〔硬質塩化ビニル管 呼び径 75 用〕 長さ：1 m	排水ホース用
給液ホース （フィルター付）	2	軟質塩化ビニル 内径：8 mm 長さ：3 m	洗剤・ソフト剤吸込み用ホース
ホースバンド（小）	2		ビニールホース固定用
ホースバンド（大）	2		排水ホース固定用
角ワッシャー	4	M12 用角ワッシャー	洗濯機据え付け用（アーカー用）
シム	10	厚さ 1 mm	洗濯機据え付け用（調整用）
取扱説明書	1		
保証書	1		
使用説明板	1	シール	設定内容表示用

据付工事編

本機の性能を十分に発揮させ、かつ安全にご使用いただくため、据え付け、電気工事、及び給水排水配管工事、はそれぞれ専門の工事業者が行ってください。

★必ず据え付けの前に次の注意事項をよくお読みいただき、正しく工事を行ってください。

★ここに示した注意事項は

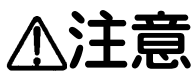
使用者や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、誤った据付工事を行うと生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度ごとに「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

絵表示についての詳しい説明は下記のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、作業を誤った場合に設置工事業者または、設置後、工事の不具合によって、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、作業を誤った場合に設置工事業者または、設置後、工事の不具合によって、使用者が傷害を負う場合または物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、注意すべき内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は特定しない一般的な使用者の行為の強制）が描かれています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも取り出せるところに大切に保管してください。



警告

据付工事を行う方へ

- 製品を安全に正しくご使用いただくために据付工事編の指示に従って工事を行ってください。
- 据付工事に際しては当該地域の条例および規定によるほか据付工事編をご参照ください。
- 据付工事終了後に取扱説明編に従って取り扱い上の注意事項をオーナーの方に説明してください。



屋外には設置しない

本機は室内用です。屋外で風雨にさらされる場所に置くと、感電や故障の原因となるので、必ず室内に設置してください。



漏電遮断機は必ず取り付ける

本機を据え付けるときは、指定の過電流遮断器内蔵の漏電遮断器を取り付けてください。故障して漏電や過電流が流れたとき、感電、火災のおそれがあります。(☞ ページ36)



⚠警告

アースは確実に取り付ける

本洗濯機専用のアースを必ず設けてください。万一の感電や落雷時における事故防止及び制御回路の耐ノイズ性を向上させます。工事は接地工事についての指示に従ってください。

(☞ ページ 36)



アンカーボルトで水平に固定する

据付けの際は製品の移動やガタツキ防止のため、「基礎工事と据付け」の指示に従って床などにしっかりと固定してください。固定が不完全な場合、製品の振動や移動などのおそれがあります。

(☞ ページ 34)



電源仕様を確認する

工事の際には銘板を確認して使用する電源が適合しているかどうか確かめてください。電源仕様が異なっていると故障や異常動作によるけがのおそれがあります。



湿気の多い場所への設置はしない

浴室などの湿気の多い場所には据え付けしないでください。機械が故障したり、感電や漏電による火災のおそれがあります。



⚠注意

本機の後ろ側に入るときは

機器の後ろ側には回転物や高温部があります。これらに触れてけが、やけどをしないように注意してください。



本機の配置の際は

保守、点検などを容易にし、安全性、配管、配線などを考慮して、本機と建築物の部分等の離隔距離は「据付工事編」の配置方法に従ってください。

(☞ ページ 32)



冬場、凍結のおそれがあるときは水抜きを行う

“水抜きバルブ”を設け、水抜き配管を行い、凍結によるホース破損を防止してください。

ホースが破損すると水漏れが生じ、感電や漏電がおこるおそれがあります。

(☞ ページ 37～38)



△警告

- 機械の据え付け・電気工事・配管工事は絶対に自分でしないでください。感電やショートによる火災、洗濯機や建物の破損のおそれがあります。専門の業者に工事を依頼してください。
- 工事は本据付け工事編を良くお読みになり、本編の指示に従って行ってください。また、給水・排水に関する法令や当該地区の条例や規定〔騒音・地震（転倒防止）など〕を厳守してください。

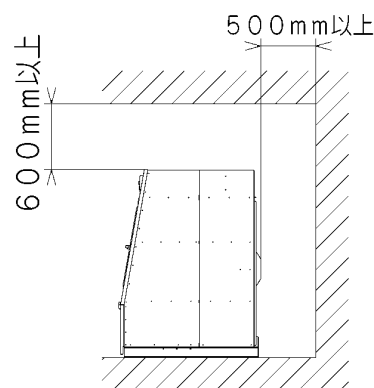
本機は、脱水時に下表の荷重が床にかかります。2階、3階等に据付ける場合は、建築業者に相談ください。

	HCW-5276WH	HCW-5206WH	HCW-5156WH	HCW-5106WH, SA
製品質量	635 kg	620 kg	428 kg	420 kg
静止時に床にかかる荷重	6.22 kN (635 kgf)	6.07 kN (620 kgf)	4.19 kN (428 kgf)	4.12 kN (420 kgf)
運転時に床にかかる最大荷重	7.61 kN (777 kgf)	7.34 kN (749 kgf)	5.03 kN (514 kgf)	4.87 kN (497 kgf)
最大荷重時の振動周波数	13.3 Hz	13.3 Hz	14.2 Hz	14.2 Hz

機械の据え付け

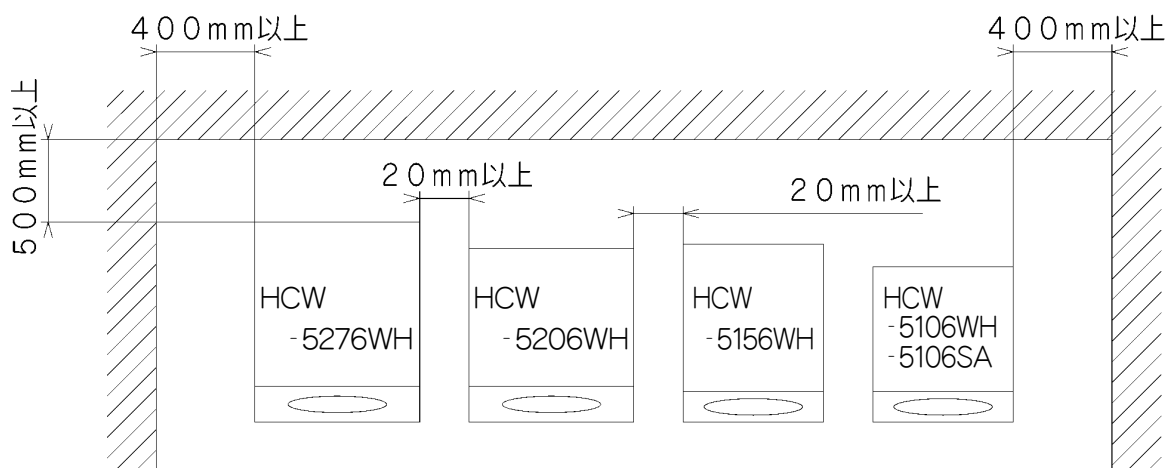
1 配置

- 洗濯機の据え付けおよび保守・点検が容易に行えるよう、洗濯機の周囲・上方に下記に示すスペースを取ってください。
- 洗濯機後面と壁とのすきま : 500mm 以上
- 洗濯機側面と壁とのすきま : 400mm 以上
- 洗濯機上面と天井とのすきま : 600mm 以上
- 隣合う洗濯機とのすきま : 20mm 以上



<側面図>

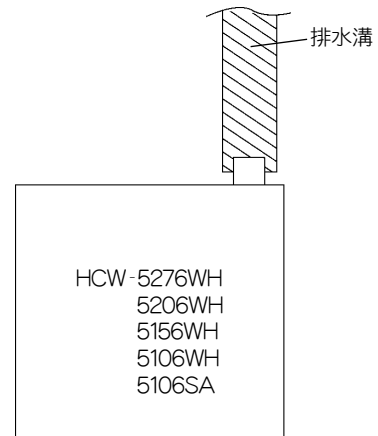
△警告
風雨にさらされる場所など湿気が多い場所には据え付けないでください。機械が故障したり、感電や漏電による火災のおそれがあります。



<平面図>

2 基礎工事

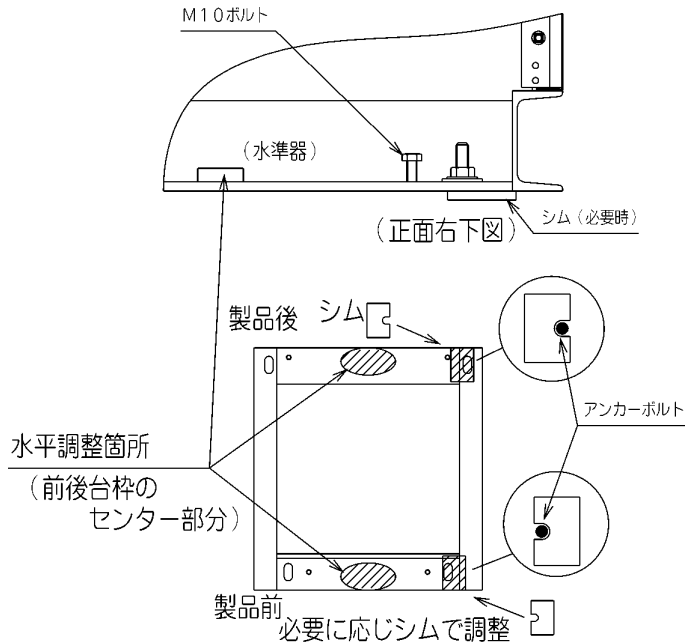
- 基礎の深さは地盤により異なりますが、コンクリートは 100mm 以上の厚さを確保してください。
- 排水を確実にを行うため、排水能力に余裕のある排水溝を設けてください。



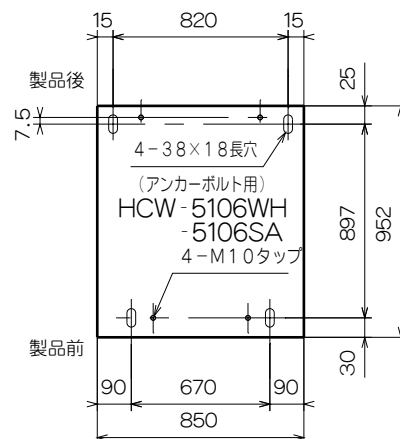
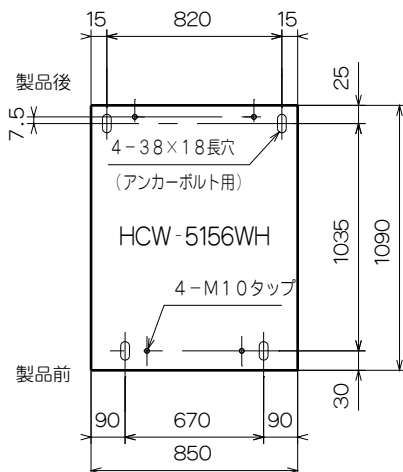
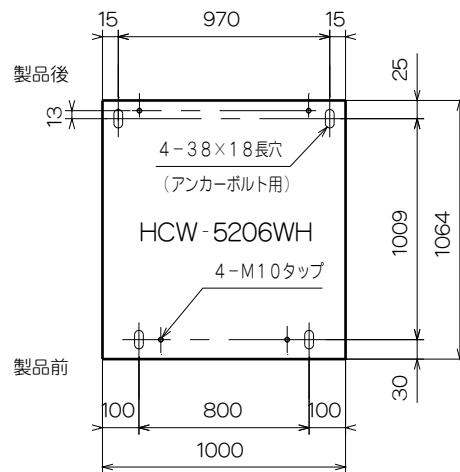
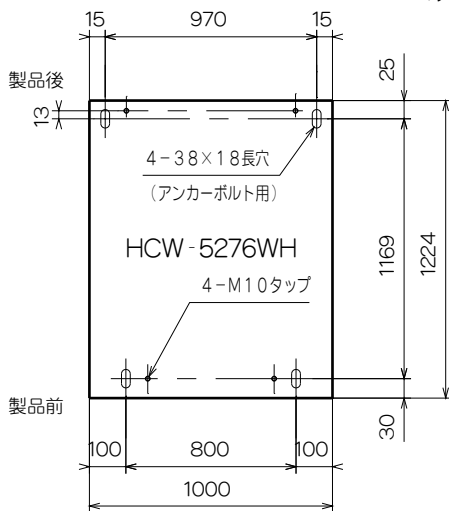
3 据え付け

- 機械の据え付けは、水平な面に左右、前後とも傾きやがたつきがないよう設置し、M12のアンカーボルトで固定してください。
- 水平の確保、がたつきの防止が困難な場合は、M10 ボルトを用いて水平に調整し、シムを挿入してがたつきの防止を行ってください。
(調整後、M10 ボルトは取り外してください。)

<p>ご注意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・機械が水平になっていない場合（特に左右方向）、振動検知センサーの感度が変化し機械の故障の原因となります。 必ず水準器を用いて右図に示す箇所で正確に水平を確保してください。 ・設置床面にゴムシートなどの弾性体を敷かないでください。（ゴムシートなどがあると逆に振動が増加します。） ・M10 ボルトの使用は水平調整時のみにし、恒久的な使用は行わないでください。
------------	---



＜アンカーボルト位置図＞



4 輸送金具の取り外し

- 据え付けが完了したら輸送金具は必ず取り外してください。
- この機械の輸送金具は左右2個所にあります。

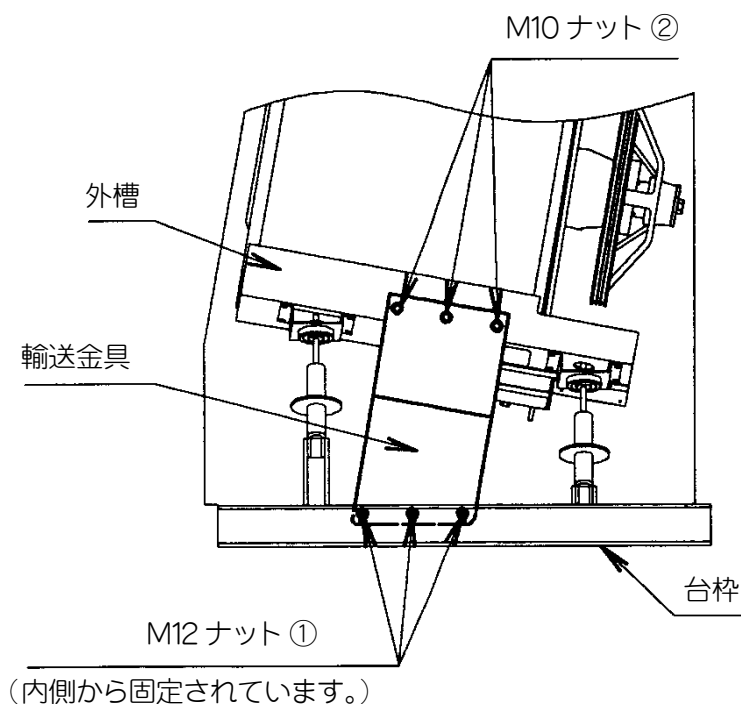
ご注意	輸送金具を付けたまま運転すると、機械が破損するおそれがあります。
-----	----------------------------------

【輸送金具の取り外し手順】

1. 前面板（上、下）および後面板を取り外す。
2. 台枠と輸送金具を固定しているM12ナット①（対辺19）を機械の内側から取り外す。（左右）
HCW-5276WH, HCW-5206WHは左右各3個
HCW-5156WH, HCW-5106WH, HCW-5106SAは左右各2個
3. 外槽と輸送金具を固定しているM10ナット②（対辺17）を取り外し、輸送金具を取り外す。（左右）
HCW-5276WH, HCW-5206WHは左右各3個
HCW-5156WH, HCW-5106WH, HCW-5106SAは左右各2個
4. 前面板（上、下）および後面板を元どおり取り付け。

<右側面から見た図>

本図はHCW-5276WHの図です。



電気工事

電気工事は電気工事士の資格が必要です。専門の工事業者に工事を依頼してください。

1 電 源

- 電源には必ず本機専用として下記仕様のものを設けてください。

3相 200V 50 または 60Hz

定格電流：20A (6.9KVA)

漏電遮断器 (感度電流 30mA 動作時間 0.1 秒以内)

- 電源電線は下記容量以上のものを必ず使用してください。
より線…2.0mm² 単線…φ 1.6 (導体径)

- 土間、コンクリート床、洗い場など湿気や水気のある場所に据え付けるときは漏電遮断器の取り付けが法令で義務付けられています。

- 電気配線はできるだけ金属線管またはフレキシブルコンジットで保護してください。

- 電気配線はガス供給管や蒸気配管に接近させないでください。(15cm 以上離すこと。)

- 回転方向

本機はインバータ制御のため電源線の入替えでは脱水行程でのドラム回転方向は変わりません。

“前から見て右回転 (↻)” です。

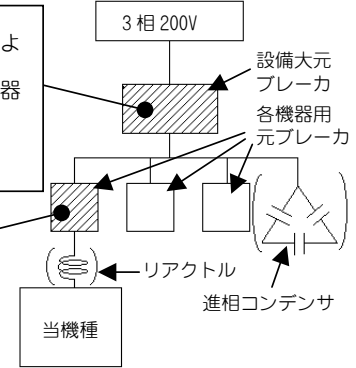
<ご注意>

当機種はインバータを使用しています。
以下の内容に注意して設置してください。

・漏電遮断器の場合：
インバータの高調波電流により誤動作が発生します。
インバータ対応型漏電遮断器を使用してください。

・漏電遮断器でない場合：
問題ありません。

インバータ対応型
漏電遮断器を
使用してください。



インバータ使用機種に進相コンデンサは取付けないでください。
他にインバータ未使用機種があり、進相コンデンサを取付ける場合は、インバータからの高調波電流による進相コンデンサ破壊防止のため、インバータの容量に適合したリアクトルを設置してください。

設備大元に漏電遮断器を設置している場合の感度電流は、「30mA×接続台数」以上となるようにしてください。

⚠警告

- 本機を据付けるときは、指定の過電流遮断器内蔵型の漏電遮断器を取り付けてください。故障して漏電、過電流が流れたとき、感電、火災のおそれがあります。
- 故障などの理由により電源コードを交換する場合、お買い上げ販売店または当社営業所、専門の工事業者に工事を依頼してください。

⚠注意

- 据付工事の際には銘板を確認して使用する電源が適合しているかどうか確かめてください。
電源仕様が異なっていると、故障や異常動作によるけがのおそれがあります。

2 アース

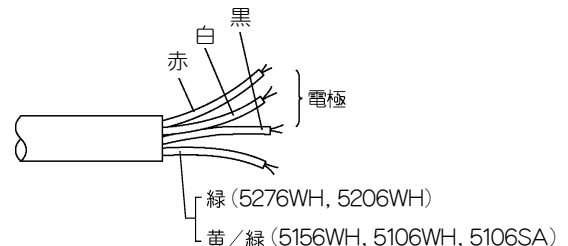
⚠警告

専門の工事業者に依頼し、必ず本機専用の D 種接地工事 (第 3 種接地工事) を行ってください。万一の感電や落雷時における事故防止及び制御回路の耐ノイズ性を向上させるためです。

ただし、次のようなところにはアース線を接続しないでください。

- 水道管：配管の途中で塩化ビニル管の場合はアースされません。
- ガス管：爆発や引火の危険があります。
- 電話線のアースや避雷針
落雷のとき大きな電流が流れて危険です。

- アース工事は電源電線の 4 芯キャプタイヤケーブルの緑色のアース線をアース端子に接続して本機単独の D 種接地工事 (第 3 種接地工事) を行ってください。



- (注) アースについては、D 種接地工事 (第 3 種接地工事) が法規で義務づけられています。

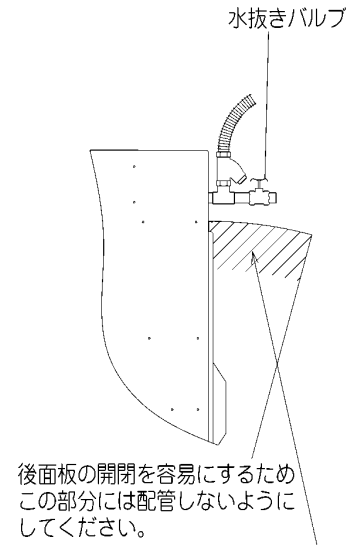
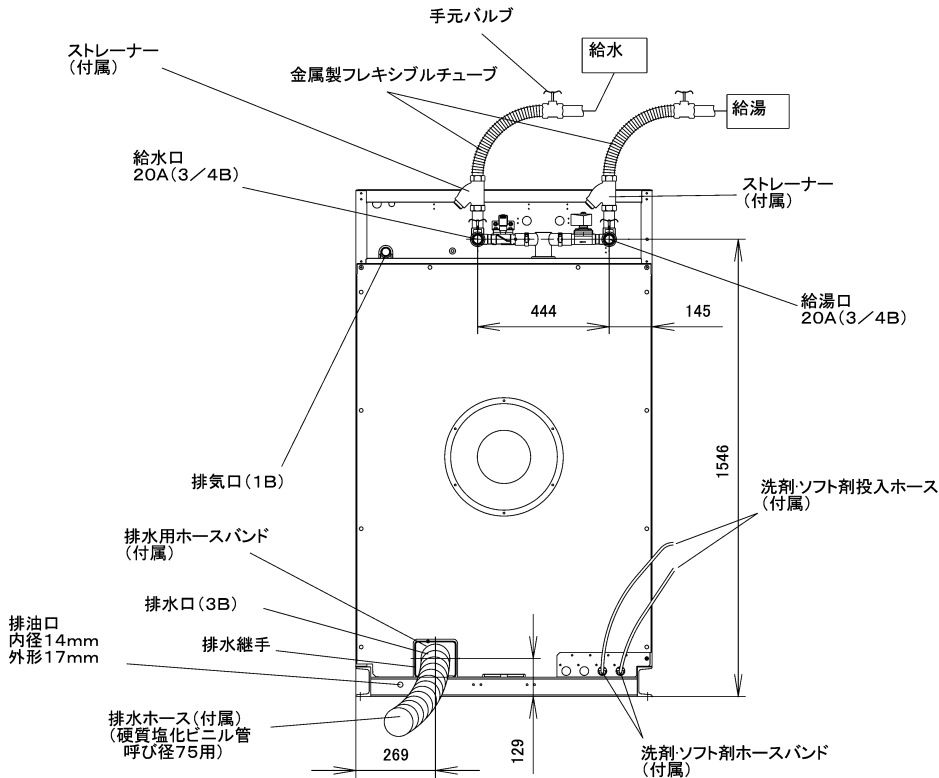
配管工事

△注意

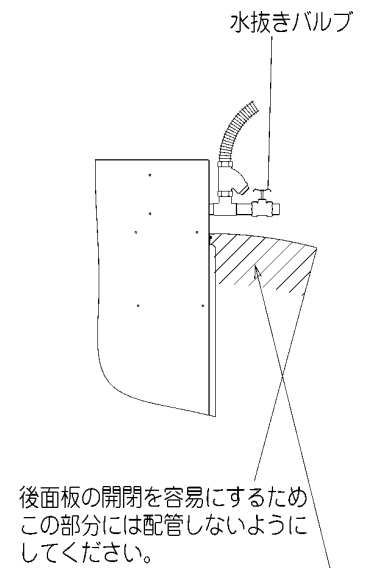
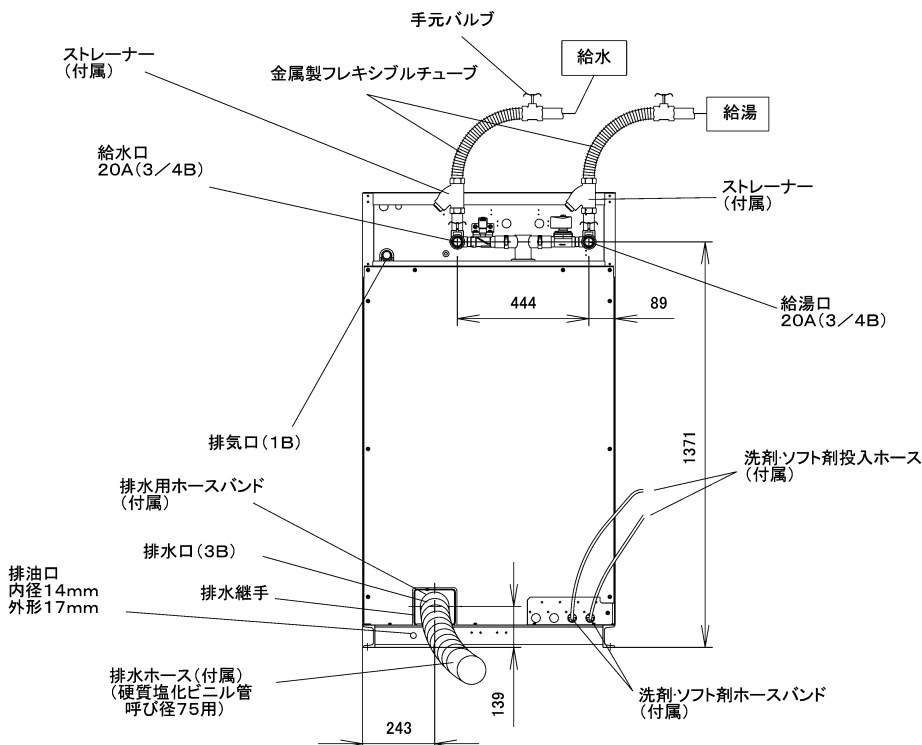
- 洗濯機の給水・給湯口の配管は水道法の「給水装置」として取り扱われます。弊社の洗濯機の洗濯槽内の給水口から水面（越流面）までの吐水口空間は200mm以下ですので、適切な逆流防止対策（受水槽方式など）が必要です。各市町村の水道局または水道課にご確認下さい。
- 排水液には有害物質は含まれていませんが、排水経路によっては届出が必要です。地域の保健所などにご確認ください。

配管位置と寸法

[HCW-5276WH, HCW-5206WH]



[HCW-5156WH, HCW-5106WH, HCW-5106SA]

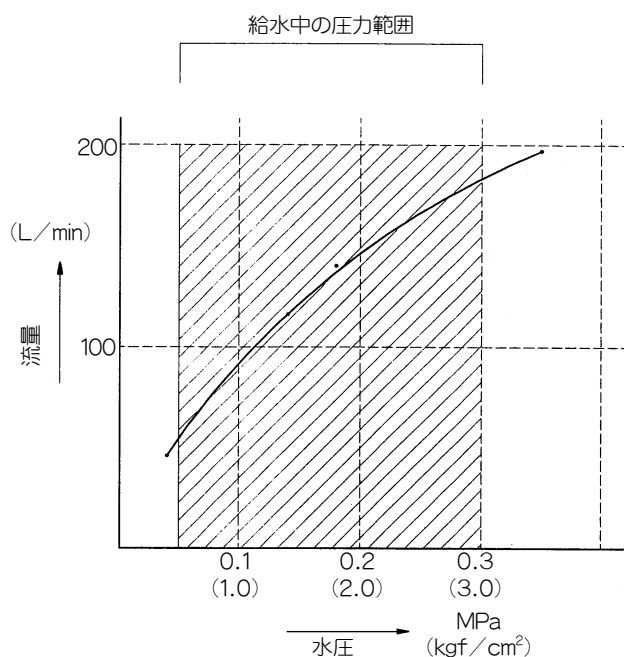


給水、給湯配管

- 付属のストレーナーを用いて給水口（給湯口）に給水（給湯）配管を接続してください。
- 給水、給湯とも必ず手元バルブを取り付けてください。（手元バルブは本体に付属していません）
- 給水（給湯）元と本体の配管接続は必ず途中で金属製フレキシブルチューブを用い、可とう性を持たせてください。可とう性のない配管を行うと、振動により配管が破損し水漏れの起こるおそれがあります。
- 冬期に凍結のおそれがある場合は、“水抜きバルブ”を設け水抜き配管を行ってください。（水抜きバルブは付属していません）また、冬期に凍結のおそれのない場合でも、“水抜きバルブ”を設けておくとか何かトラブルが生じた際にメンテナンスが容易になります。
- 給水（給湯）圧力は0.05～0.3MPaを保ってください。

水圧が低すぎる場合…給水、給湯時間が長くなります。
 水圧が高すぎる場合…給水、給湯バルブが正常に動作しなくなります。

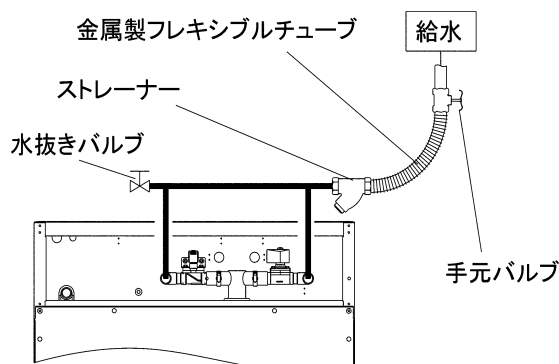
- 給水量と水圧は下図を参照ください。



[温水洗いを行わず、給水配管のみを行う場合]

- 必ず給水口と給湯口の両方に給水配管を接続してください。給湯口に給水配管を接続しなかった場合、下記①②の運転時にトラブルモニター H02（給水時の水量不足）が働きます。

- ① 温水位を1度以上に設定して運転した場合（ただし、温水位と冷水位を同じ水位に設定した場合は、トラブルモニター H02 は働きません）
- ② 試運転モニターの P53 を運転した場合

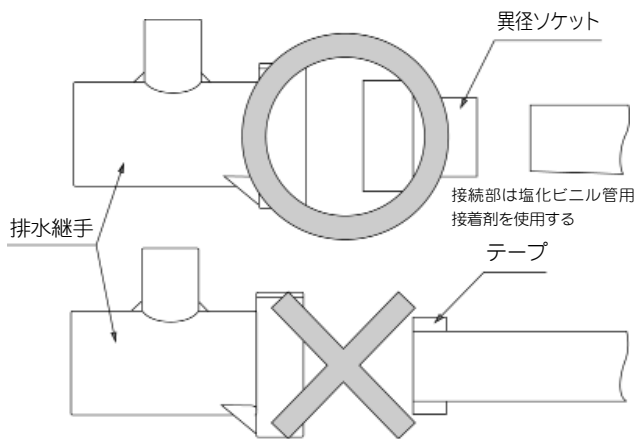


ご注意	配管工事を行った後は、シールテープ、配管ゴミ、スケールなどが初期的に詰まることが多いため、試運転にて十分給水、給湯を行った後ストレーナーを掃除してください。
------------	--

△注意
給湯に使用する温水は60℃以下にしてください。高温水を使用すると衣類を傷めたり、プラスチック部品の変形や傷みにより感電や漏電のおそれがあります。

排水配管

- 排水ホースを排水口までの長さに合わせて切断し、先細りや先上りにならないようにして排水口と接続してください。
- 本体排水管と排水ホースとは付属のホースバンドにてしっかりと接続してください。
- 排水管の関係でどうしても先細りでないと接続できない場合は異径ソケットにて径をおとして接続してください。排水管にテープを巻きつけ接続すると、異物が排水管にひっかかることがありますので絶対におやめください。



異径ソケットによる径のおとし方

洗剤、ソフト剤吸込み用ホース

- 付属の給液ホースをホースバンド（付属）を用いて、製品後部左上の洗剤、ソフト剤用ポンプに接続してください。（☞ ページ 14）
- 据付当初や、洗剤、ソフト剤のタンクを交換したときは、試運転方法 P57、P58（☞ ページ 8～12）に従ってホース内のエアーを抜き取ってください。エアー抜きを行わないと、洗剤、ソフト剤が正しく注入されません。

ご注意

本製品では洗剤、ソフト剤は外部タンクからの供給となります。

排油口

- 本製品には、何らかのトラブルでオイルシールが破損した場合、ベアリングを保護する為の排油口を製品の後部下に設けています。この場合、排油口からわずかつつですが、水及びグリスが排出されますので適当な容器で受けてください。（☞ ページ 5、6）

プログラム設定内容記録表

●各種設定の内容を変更した場合は設定値を記録し、大切に保管しておいてください。

洗濯コース	行程	設定値									
		洗い、すすぎ 時間 (0~30分)	冷水位 (0~12度)	温水位 (0~12度)	洗剤 (0~60秒)	ソフト剤 (0~60秒)	助剤1 (0~60秒)	助剤2 (0~60秒)	ドラム回転 強(8on-2oFF) 弱(2on-8oFF) から選択	脱水時間 (0~10分)	脱水回転 低、中、高 から選択
P 1	洗い1										
	洗い2										
	すすぎ1										
	すすぎ2										
	すすぎ3										
	すすぎ4										
	脱水										
P 2	洗い1										
	洗い2										
	すすぎ1										
	すすぎ2										
	すすぎ3										
	すすぎ4										
	脱水										
P 3	洗い1										
	洗い2										
	すすぎ1										
	すすぎ2										
	すすぎ3										
	すすぎ4										
	脱水										
P 4	洗い1										
	洗い2										
	すすぎ1										
	すすぎ2										
	すすぎ3										
	すすぎ4										
	脱水										
P 5	洗い1										
	洗い2										
	すすぎ1										
	すすぎ2										
	すすぎ3										
	すすぎ4										
	脱水										
P 6	洗い1										
	洗い2										
	すすぎ1										
	すすぎ2										
	すすぎ3										
	すすぎ4										
	脱水										
P 7	洗い1										
	洗い2										
	すすぎ1										
	すすぎ2										
	すすぎ3										
	すすぎ4										
	脱水										

お客さまご相談窓口

■まずはお買い上げの販売店へ…

商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居または移設でお困りの場合は、お買いあげの販売店、または下記の相談窓口にお問い合わせください。


商品についての全般的なご相談

〈アクア 株式会社〉

受付時間:(365日)9:00~18:00

総合相談窓口

TEL  0120-656-292

FAX  0570-060-292 (有料)

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。なお、お客さまが当社にお電話でご相談、ご連絡頂いた場合には、お客さまのお申し出を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

- <利用目的>
- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにアクア株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- <業務委託の場合>
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ <http://aqua-has.com/> をご覧ください。

アフターサービスと保証について

- 保証書は必ずお受け取りの上、保存してください。
- 保証期間は設置日から1年間です。
- 保証期間経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 商品の補修用性能部品の保有年数は製造打ち切り後 13 年です。
- 修理やアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、当社の「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

＝ お客さまメモ ＝

・ご購入の際に記入しておいてください。修理などを依頼されるとき便利です。

品番	HCW-5276WH/ 5206WH/ 5156WH/ 5106WH/ 5106SA
設置年月日	年 月 日
お買い上げ販売店名	電話番号 () -

アクア 株式会社